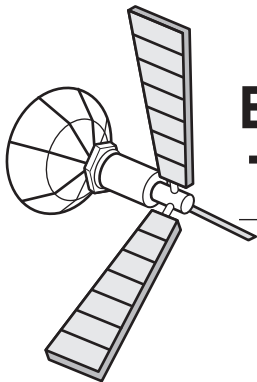


VALUESTAR

パソコンで楽しむ BSデジタル放送

BS・110度CSデジタルTV放送を
楽しむために





BS デジタル放送と 110度CS デジタル放送を楽しもう

今までのテレビとは一味違う、BS・110度CS デジタル放送の
魅力をご紹介します。

BS デジタル放送・・・テレビは「見る」から「使う」へ



ワイドになった高精細画質で「見る」、CD 並の高音質で「聴く」

デジタルハイビジョン放送は、高画質・高音質に加え、「ワイド画面」という特長を持っています。人の視野角に近い16:9の横・縦比率で構成され（従来型は4:3）、ゆがみのないワイド画面から「迫力」、「臨場感」、「開放感」、「質感」などが伝わってきます。

音声もデジタルサウンドによる CD 並の高音質を実現しています。



チャンネル数が増えて、バラエティに富んだ番組編成

BSデジタル放送では、デジタル信号の圧縮技術を活用し、ひとつの電波で複数の番組を同時に送信することができます。そのため、テレビ放送に加えてラジオ放送やデータ放送など、チャンネル数が増えました。

「たくさんありすぎて、見たい番組をどうやって探せばいいの？」という方には、番組表からの検索もできるようになっているので、ぜひともご活用を。



データ放送は新しいテレビの使い方を提供します

データ放送は、文字や静止画像で構成された番組です。

データ放送によって、災害などの緊急時の通報を得たり、ニュースやスポーツ結果、最新の気象・金融情報に好きなときにアクセスできます。また、番組で登場した料理のレシピやお店の地図を確認したり、演奏曲目やアーティストの情報、イベントやキャンペーンなどのお知らせもキャッチ。そのほか、電話回線を使用して、アンケートやクイズに答えるなどの番組参加や、オンラインショッピングなど双方向サービスが利用できます。



ダブルクリックして見る・・・便利な番組表

最大で7日先までの番組情報を衛星から受信して、パソコン画面に表示することができます。この番組表から見たい番組をダブルクリックするだけで、番組を見たり、録画予約もできるので、とても便利。

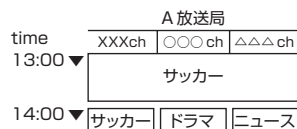




たくさんの情報を送ることができる BS デジタル放送だからできること

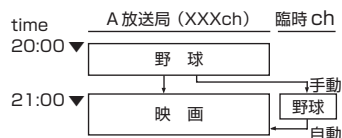
●マルチチャンネル

デジタルハイビジョンで放送されているひとつのチャンネルを最大3つのチャンネルに分割して、3つの番組を同時に放送することができます(この場合は、デジタルハイビジョンではなく、標準テレビ放送同等の画質になります)。



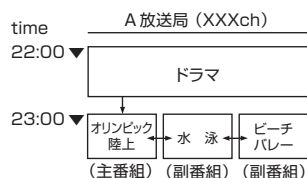
●臨時編成サービス

たとえば、野球の試合が延長になった場合などに、臨時に増設されたチャンネルで引き続き視聴できるサービスです。野球の次に予定されている番組は、もちろん定刻に開始して、こちらも視聴可能。野球中継が終わると臨時チャンネルも終わって、自動的に元のチャンネルに戻るようになっています。



●マルチビュー

マルチビューは、デジタルハイビジョンで放送されているひとつの番組を、3つのチャンネルに分割して、関連した3つの番組として放送するサービス。画質は、標準テレビ放送同等の画質になります。



●雨の日の受信も安心、降雨対応放送

激しい雨や雪などによって、BSデジタル放送の映像や音質が劣化する場合にそなえて、同じ番組が、降雨に強い方式(静止画等)でも並行して送られています。

悪天候で衛星からの電波が弱くなると、自動的に降雨対応放送に切り換わるチャンネルがあります。

110度CS デジタル放送…多数の専門チャンネルが魅力

110度CS デジタル放送は、スポーツ・音楽・映画などの専門チャンネルが多いのが特長です。「スカイパーフェクTV! 110」という放送局がCS1とCS2という2つのチャンネル・ネットワークを運営しています。有料放送が中心なので、毎月の基本料金と、見たい番組の料金が必要になります。

110度CS デジタル放送用の衛星は、BS デジタル放送用と同じ軌道上にあります。そのため、BS デジタル・110度CS デジタル共用のアンテナを用意すれば、1 台のアンテナで両放送を受信することができます。

BS デジタル放送と同じようにデータ放送、番組表もあります。

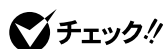


このマニュアルの表記について

◆本文中の画面、ホームページ

本文中の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。本文中に使用しているホームページは、実際にご覧になるものと異なる場合があります。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンで起きている問題点に対する対処方法を示しています。対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものをさがしてください。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】

【 】で囲んである文字は、キーボードのキーやリモコンのボタンを指します。

CD/DVDドライブ

DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWDドライブのことを指します。

プリンタ、
コネクタなど

「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。

 「サポート
ナビゲーター」

電子マニュアル「サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートナビゲーター」はデスクトップの (困ったときのサポートナビゲーター)をダブルクリックして起動します。

 「サポート
ナビゲーター」
「ソフトの紹介と説明」

「サポートナビゲーター」を起動して、ソフトの操作方法などを参照することを示します。ソフトの名称がわかっている場合は、続けて「ソフト一覧」をクリックして該当する項目をご覧ください。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

表をご覧くださいになり、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン	表の各モデル（機種）を指します。
液晶ディスプレイ セットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW モデル	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブを搭載しているモデルのことです。
TVモデル	地上アナログテレビ/地上アナログデータ放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。
BSモデル	TVモデルのなかでBS・110度CSデジタルチューナボードを搭載しているモデルのことです。BS・110度CSデジタル放送を楽しむことができます。
地上デジタル TVモデル	TVモデルのなかで地上デジタルチューナボードを搭載しているモデルのことです。地上デジタル放送を楽しむことができます。なお、このモデルには、BS・110度CSデジタルチューナボードも搭載されており、BS・110度CSデジタル放送を楽しむこともできます。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、 Windows XP、 Windows XP Home Edition	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 1
Windows、 Windows XP、 Windows XP Professional	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 1
WinDVD	InterVideo® WinDVD™ 5 for NEC
DVD MovieWriter	Ulead® DVD MovieWriter® for NEC Ver.3
DVD-MovieAlbum	DVD-MovieAlbumSE 3
bitcast browser	bitcast browser Ver.3.0
RecordNow DX	Sonic RecordNow DX
マカフィー・ウイルススキャン	マカフィー®・ウイルススキャン

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121 コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Microsoft® Windows® XP Home Edition および本機に添付の CD-ROM は、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
- (10) 本製品の修理の際、故障内容により、内蔵ハードディスクおよび DVD 等のメディアに保存した番組データが再生できなくなったり、修理に時間がかかる場合がありますので、予めご了承ください。
- (11) この製品は、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しています。
- (12) この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。またその使用は、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部の PPV (ペイ・パー・ビュー) での使用に制限されています。この製品を分解したり改造することは禁じられています。

Microsoft、Windows、Outlook、Office ロゴおよび Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

bitcast およびビットキャストの名称、ロゴは、株式会社インフォシティの登録商標です。

Ulead および Ulead Systems ロゴは Ulead Systems, Inc. またはユーリードシステムズ株式会社の商標または登録商標です。

Sonic RecordNow は、米国 Sonic Solutions の登録商標です。

SmartVision、FontAvenue は、日本電気株式会社の登録商標です。

McAfee、VirusScan、マカフィーは米国法人 Network Associates, Inc. またはその関係会社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd. 2004

日本電気株式会社、NEC パーソナルプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はありません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

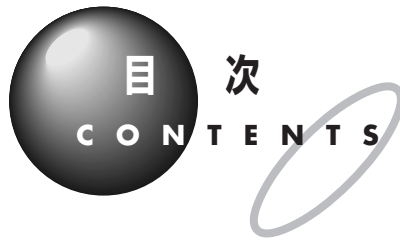
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC^{*1} will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC^{*1} does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

^{*1} 1: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.



PART

1

PART

2

BS デジタル放送と 110 度CS デジタル放送を楽しもう (巻頭)

このマニュアルの表記について ii

接続と準備 1

接続する前の準備 2

用意するもの 2

ケーブルテレビでBS・110度CS デジタル放送を見るときに注意 3

電話回線に接続していることを確認する 3

アンテナ線を接続する 4

IC カードBOX を接続する 5

IC カードBOX を接続する 5

B-CAS カードを挿入する 6

B-CAS カードの登録を行う 7

Windows のパスワードを設定する 8

BS・110 度CS デジタル放送を見るための準備 12

SmartVision BS を起動する 12

地域の設定をする 13

アンテナの設定をする 14

SmartVision BS にパスワードを設定する 16

番組を見る 17

デジタル放送を見る 18

SmartVision BS の起動と終了 18

画面を切り換える 19

BS/CS1/CS2/ 録画番組を見る 22

タイムシフトモードとライブモードを切り換える 23

タイムシフトモードで一時停止・巻き戻し・早送りをする 23

チャンネルを切り換える	25
チャンネルコントロールで切り換える	25
キーボードやリモコンで切り換える	26
番組表を使って切り換える	28
音量を調節する	29
音声コントロールで調節する	29
ディスプレイ、キーボード、リモコンで調節する	29
データ放送を見る	31
データ放送とは	31
データ放送を表示する	31
データ放送の画面操作について	32
データ放送を見るときに注意	33
その他の番組サービスについて	34
ラジオ放送を聴く	34
有料放送を見る	34
字幕や文字スーパーを表示する	35
映像や音声を切り換える	35
録画と再生をする	37
番組を録画／再生する	38
録画について	38
見ている番組を録画する	39
タイムシフト録画（巻き戻して録画する）	41
録画しながら再生する	42
録画を終了する	42
録画予約する	42
VIDEO リストから選んで再生する	43
録画した番組データを整理する	44
エクスポートする	44
RecordNow DX を使って DVD に保存する	46
DVD に保存した番組を SmartVision BS で再生する	49
ビデオテープへ保存する	51

PART

4

番組表から視聴／録画予約する 53

番組表を使う 54

番組表を見る 54

番組表を受信する 56

番組を予約する 57

番組表を使って予約する 57

番組を検索して予約する 60

予約するときの注意 61

予約の確認や変更をする 62

予約した録画が成功したか確認する 64

PART

5

SmartVision BS Q&A 65

テレビがうまく見られないときには 66

SmartVision BS が起動できない 66

テレビが映らない 66

音が出ない、音が大きすぎる 67

録画ができない 68

映像がコマ落ちする 69

視聴予約や録画予約ができないときには 70

予約設定ができない 70

録画予約した番組が録画されていない 70

VIDEO リストに録画した番組が見あたらない 71

データ放送／番組表などの受信がうまくいかないときには 72

受信できない 72

データ放送が表示できない 73

付 録75

リモコンで操作する 76

リモコンの操作範囲 76

テレビを見るときに使用するボタン 77

SmartVision BS を起動／終了する 78

SmartVision BS でのリモコン操作 79

索 引81

P A R T

1

接続と準備

アンテナやICカードBOXなどを接続して、BS・110度CSデジタル放送を見るための準備をしましょう。

BS・110度CSデジタル放送を見るときに必要な、「SmartVision BS」というソフトの設定もここで行います。

接続する前の準備

接続をはじめる前に必要なものを準備しておきましょう。

用意するもの

次のものをご用意ください。

●このパソコンに添付されているもの

BS デジタル放送用の添付品箱に入っています

- ☐ IC カード BOX (1 個)



本体の添付品収納箱に入っています

- ☐ B-CAS カード (1 枚)



- ☐ VIDEO 変換コネクタ
(必要に応じて使います)
- ☐ 有料放送加入契約申込書・パンフレット (BS 用・110 度 CS 用)

●このパソコンに添付されていないもの

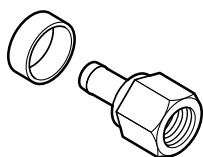
お客様でご用意ください。

必ずご用意いただくもの

- ☐ BS・110度CS デジタルアンテナ（共同住宅設備または、ベランダなどに設置するタイプいずれか）
- ☐ アンテナ線

必要に応じてご用意いただくもの

- ・アンテナ線の先にF型コネクタプラグが付いていない場合
 - ☐ ストレート形状のF型コネクタプラグ



- ・アンテナ線を分配したい場合
 - ☐ 分配器
- ・地上アナログテレビ放送と混合されたアンテナ線を分波したい場合
 - ☐ 分波器
- ・ビデオデッキを接続する場合
 - ☐ 音声用ケーブル（ステレオミニプラグ・ピンプラグ×2）
 - ☐ S映像用ケーブルまたは映像用ケーブル
- ・その他の機器を接続する場合
 - ☐ 接続する機器の入出力端子に適応したケーブル（必要本数）

- ・従来のBSアンテナでは、一部BSデジタル放送を受信できないものもあります。BSデジタル放送対応アンテナを使用されることをおすすめします。
- ・110度CSデジタル放送をご覧になるには、対応したアンテナが必要です。また、加入契約をする必要があります。

その他の機器のケーブルは、機器に添付されている場合もあります。接続する機器のマニュアルをご覧ください。

ケーブルテレビでBS・110度CS デジタル放送を見るとき注意

ケーブルテレビからBS・110度CSデジタル放送を受信できるかどうかは、ケーブルテレビ事業者によって異なります。加入しているケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

電話回線に接続していることを確認する

有料放送の料金や双方向サービスに関する情報などは、電話回線を使って送信します。パソコンと電話回線が接続されているか確認してください。電話回線との接続方法については、「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「モデム」をご覧ください。ISDN回線をご利用の方は、ISDN回線接続に加えて、このパソコンとターミナルアダプタのアナログポートを接続しておいてください。

✓チェック!!

SmartVision BS の使用中は、必ず電話回線をモデムに接続しておいてください。なお、回線使用中は、電話の接続先によって電話料金がかかる場合がありますのでご注意ください。

アンテナ線を接続する

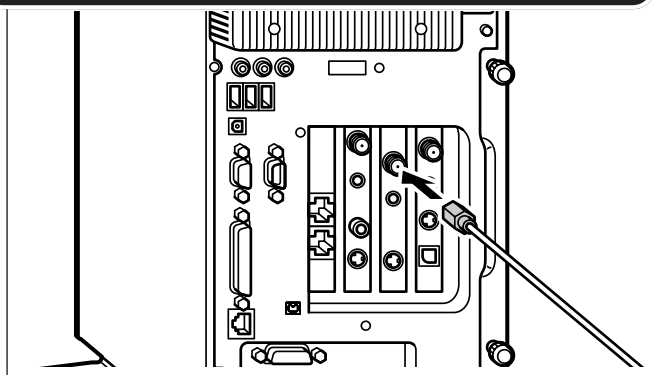
パソコン本体背面のBS・110度CSデジタルチューナボードにアンテナ線を接続します。

1

パソコンや周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルを外す

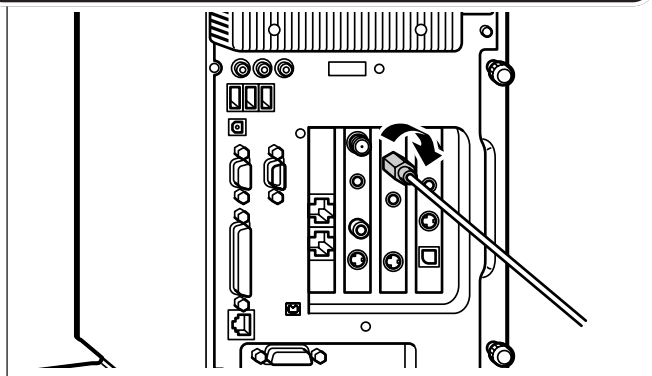
2

本体背面のBS/CSアンテナ端子()にアンテナ線のF型コネクタプラグを差し込む



3

F型コネクタプラグの先端のネジを右へ回し、止まるまでしっかり固定する



4

手順1で外した電源ケーブルを接続し直す

✓チェック!!

ご購入時は、BS・110度CSデジタルチューナボードからアンテナのコンバーターへの電源供給は「供給しない」に設定されています。

BS・110度CSデジタルチューナボードとアンテナを直接接続する場合は「+15V供給」に設定してください(p.15)。

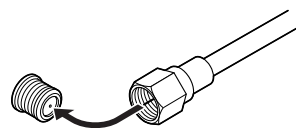
✓チェック!!

- ・BS・110度CSデジタルアンテナ、アンテナ線はこのパソコンには添付されていません。お近くの電器店などでお買い求めください。
- ・アンテナ線を分配したい場合は、分配器が必要になります。

📖 参照

アンテナ線にF型コネクタプラグを取り付ける方法→『TVモデルガイド』PART1の「アンテナ線を接続する」

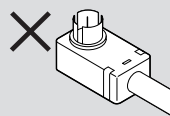
BS/CSアンテナ端子中心部の小さな穴に、F型コネクタプラグの中心にある金属線を差し込んでください。



金属線が曲がっているときは、まっすぐに直してください。

金属線は折れやすいので、ていねいに扱ってください。

✓チェック!!



この形状のプラグをパソコン側のコネクタに取り付けることはできません。ノイズの影響を受けやすくなり、正常に受信できないことがあります。

ICカードBOXを接続する

本体背面のデジタルチューナボードにICカードBOXを接続し、B-CASカードを挿入します。B-CASカードはデジタル放送を視聴したり各種サービスを利用するために必要なカードです。

✓チェック!!

- ・ ICカードBOXは、常に接続しておいてください。
- ・ B-CASカードを挿入しないと、放送を視聴したり、その他の放送サービスを受けることができません。

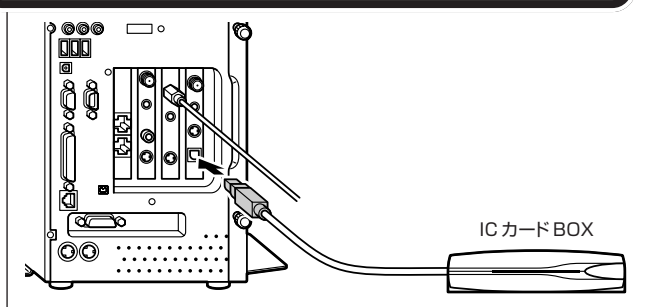
ICカードBOXを接続する

地上デジタルチューナボードが搭載されているモデルの場合と、搭載されていないモデルの場合では、ICカードBOXを接続する端子の位置が異なります。

●地上デジタルチューナボードが搭載されているモデルの場合

1

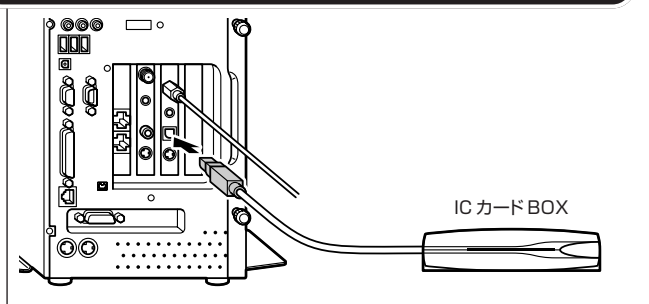
ICカードBOXの背面から出ている接続ケーブルを、本体背面の地上デジタルチューナボードのICカードボックス接続端子(🔌)に接続する



●地上デジタルチューナボードが搭載されていないモデルの場合

1

ICカードBOXの背面から出ている接続ケーブルを、本体背面のBS・110度CSデジタルチューナボードのICカードボックス接続端子(🔌)に接続する



B-CAS カードを挿入する

B-CASカードは必ず挿入してください。挿入していないと、BSデジタル放送が視聴できません。

1

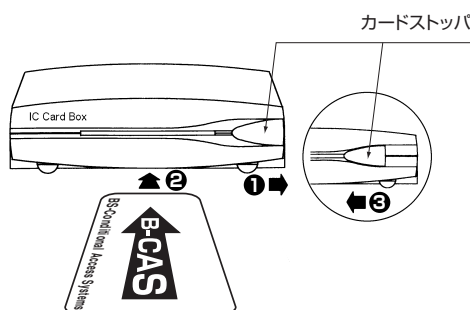
ICカードBOXのカードストップを右側にスライドさせ、ロックを解除する

2

絵柄表示面を上にして、B-CASカードの矢印と挿入方向を合わせ、奥までしっかりと押し込む

3

ICカードBOXのカードストップを左側にスライドさせ、ロックする



✓チェック!!

- ・ このパソコン専用の B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- ・ B-CAS カードの取り扱いについて、次のことにご注意ください。
 - 裏面の金メッキされた端子に手を触れないでください。
 - 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけないでください。
 - 上に重いものを載せたり、踏みつけたりしないでください。
 - ぬれた手で触ったり、水をかけたりしないでください。
 - 分解・加工しないでください。
- ・ 裏向きや逆方向から B-CAS カードを挿入しないでください。挿入方向を間違えると、B-CASカードが機能せず、デジタル放送を視聴できません。
- ・ B-CASカードは、常時挿したままにしておいてください。抜く場合は、先にパソコンの電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いた後に、B-CASカードを抜いてください。

B-CAS カードの登録を行う

B-CAS カードは、デジタル放送の各種サービスを利用するときに必要なカードです。サービスを受けられるようにするには、B-CASカードのユーザー登録が必要です。B-CASカードに添付されている「ユーザー登録ハガキ」に必要事項を記入して、返送してください。その際、「ご登録に際して」欄の「はい」に○をつけることをおすすめします。詳しくは、B-CASカードに添付されている説明書をご覧ください。

- ・ B-CAS カードの所有権は、(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ(略称:B-CAS)に帰属します。カードの登録をする
と、カードシステムのバージョンアップを無料で受けることができます。
- ・ カードを紛失するなどして再発行
する場合は、再発行費用がかかります。
- ・ 「ユーザー登録ハガキ」の期限が切
れていても、そのまま投函できま
す。
- ・ 有料放送を見るには、各放送局と
の契約が必要となります。詳細に
ついては、添付の申し込み案内を
ご覧ください。

用語

限定受信システム (CAS: Conditional Access System)

特定のお客様に限り、番組の視聴ができるようにするシステムです。

Windows のパスワードを設定する

SmartVision BSを利用するために、ユーザーアカウントのパスワードを設定します。また、省電力状態からの復帰時にパスワード確認の画面を表示しないように設定を変更する必要があります。

● Windows のログオン時のパスワードを設定する

すでに設定している場合は、この操作は不要ですので、次ページの「スタンバイからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないように設定する」に進んでください。

1

「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする

2

「ユーザー アカウント」をクリックする

3

「アカウントの変更」をクリックする

4

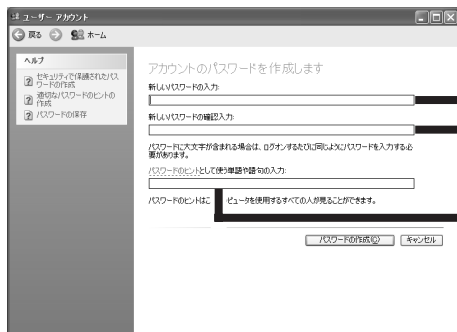
パスワードを設定するアカウント（ユーザー名）をクリックする

5

「パスワードを作成する」をクリックする



ユーザーアカウント画面が表示される



6

パスワードを入力する

7

手順6で入力したパスワードと同じパスワードを入力する

8

必要に応じて、パスワードを思い出すときにヒントになる単語や語句を入力する

✓ チェック!!

複数のユーザーを設定してこのパソコンをお使いの場合、すべてのユーザーアカウントにこの設定を行ってください。

9 「パスワードの作成」をクリックする

10 「ファイルやフォルダを個人用にしますか？」と表示されたら「はい、個人用にします」をクリックする

11 「ユーザー アカウント」の画面を閉じる

●スタンバイからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないように設定する

この設定を変更する場合は、あらかじめパソコン起動時に、コンピュータの管理者権限を持ったユーザーアカウントでログインしてください。制限付きユーザーアカウントでは設定を変更できません。

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする

2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックする

3 「電源オプション」をクリックする

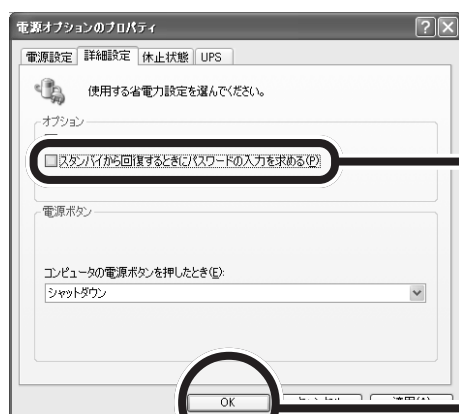
↓ 電源オプションのプロパティ画面が表示される

4 「詳細設定」タブをクリックする

↓ 詳細設定画面が表示される

✓チェック!!

SmartVision BSの設定ウィンドウで「ログオンパスワード」を入力するとき、ここで作成したパスワードの入力が求められます (p.16)。パスワードが間違っていると、録画予約などの機能が使えなくなります。パスワードは、忘れないように注意してください。



5

☒ (オン) になっている場合は、
クリックして ☐ (オフ) にする

6

「OK」をクリックする

7

「パフォーマンスとメンテナンス」を閉じる

制限付きユーザーアカウントまたは Guest アカウントでログオンしている場合は、手順 5 で設定を変更できません(アクセス権限など)。管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンしたときに設定をオフにしていれば、この設定が有効になります。

●スクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないように設定する

スクリーンセーバーを表示する設定になっている場合は、次の手順で、復帰時にパスワードの確認画面が表示されないようにしてください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする

2 「デスクトップの表示とテーマ」をクリックする

3 「スクリーンセーバーを選択する」をクリックする

↓
画面のプロパティが表示される



4 ☒ (オン)になっている場合は、
クリックして ☐ (オフ) にする

5 「OK」をクリックする

6 「デスクトップの表示とテーマ」を閉じる

✓チェック!!

複数ユーザーでお使いの場合に表示される画面のプロパティでは、手順4の「パスワードによる保護」は「再開時によこそ画面に戻る」になっていますが、同じようにクリックして ☐ (オフ) にし、手順5で「OK」をクリックしてください。



複数ユーザーでお使いの場合でも、ユーザーの簡易切り換えを使用していない場合には表示される画面は左の画面となります。

BS・110度CS デジタル放送を見るための準備

必要な機器との接続が完了したら、SmartVision BSで番組を見るための準備をします。

SmartVision BS を起動する

SmartVision BS を起動するときは、次のソフトを終了してください。

- ・地上デジタルテレビソフト (SmartVision DG)
- ・地上アナログテレビソフト (SmartVision、bitcast browser)
- ・地上アナログデータ放送ソフト (ADAMS ナビ、もじぞう)
- ・WinDVD

1

「ソフトナビゲーター」の「目的で探す」-「映像」-「テレビ・ビデオ」-「衛星デジタル放送を見る」-「SmartVision BS」アイコン-「起動する」をクリックする

SmartVision BS の画面が表示されます。



起動すると、自動的に番組表の受信が開始されます。
アンテナの向きなどによってうまく受信できなかった場合、アンテナを調整した後も受信することができます (p.14)。

チェック!!

SmartVision BS 起動中にマカフィー・ウイルススキャンでスキャンすると、コマ落ちが発生する場合があります。ご注意ください。

チェック!!

SmartVision BS を起動するときに地上アナログテレビ (SmartVision) や地上デジタルテレビ (SmartVision DG) の録画や番組表の受信を行っている場合、SmartVision BS を起動できません (予約録画で、SmartVision を起動せずに地上アナログテレビを録画している場合を除く)。他のソフトでの録画や番組表の受信を取り消してから起動してください。

はじめて起動したときには、次の画面が表示されます。



次回から表示させないようにする場合は、「次回起動時、このダイアログを表示しない。」をクリックして ☒ にして、「OK」をクリックしてください。

SmartVision BS を利用できる解像度と表示色は「1,024×768 ピクセル、65,536 色 (High Color) 以上」です。

チェック!!

SmartVision BS は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision BS」-「SmartVision BS」から起動することもできます。

地域の設定をする

はじめて起動したときには次のような初期設定画面が表示されます。

The image shows a screenshot of the 'Initial Setup' (初期設定) window. It contains three main sections: 1. Postal code input: '半角数字で、郵便番号を入力してください' (Enter the postal code in half-width numbers). The input field shows '郵便番号(Z)' followed by a hyphen and a blank space. 2. Prefecture selection: 'お住まいの都道府県を選択してください' (Select your prefecture). The dropdown menu shows '都道府県(J)' and '東北海道' (Hokkaido). 3. Modem selection: '使用するモデムを選択して下さい' (Select the modem to use). The dropdown menu shows 'モデム(M)' and 'SoftK56 Data Fax'. At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. The 'OK' button is circled with a line pointing to step 3.

1

居住地域の郵便番号を入力する

以後番組を受信するときに、番組によっては入力した郵便番号の地域のデータ（天気など）が自動的に表示されるようになります。

2

居住する都道府県名（地域名）を一覧の中から選択する

3

「OK」をクリックする

次に、接続したアンテナが良好な状態で受信できるようにします。

あとから設定し直す場合は、設定ウィンドウの「個人情報」-「住所」タブで再設定できます。

参照

地域の再設定をする→オンラインマニュアルの「いろいろな設定をする」-「個人情報」-「住所の設定をする」

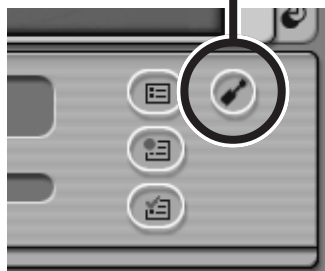
アンテナの設定をする

「アンテナ電源」の設定と「受信レベル」の調整を行います。

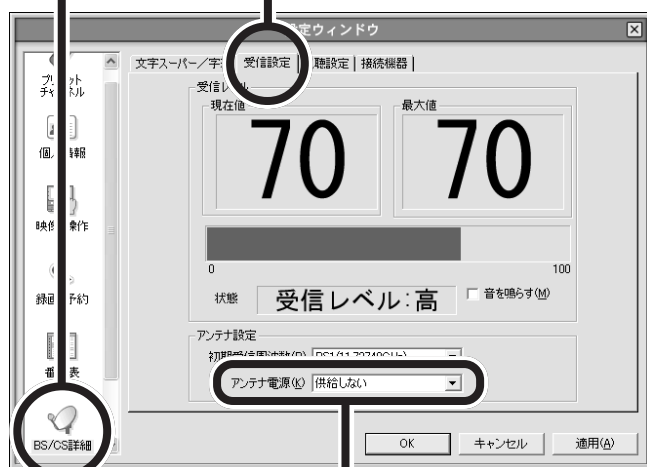


1  ノーマル をクリックする

2  (設定) をクリックする



- 3 設定ウィンドウの「BS/CS 詳細」アイコンをクリックし、「受信設定」タブをクリックする



- 4 アンテナ電源を選択する
- ・BS・110度CSデジタルチューナボードとBSアンテナを直接接続している場合は、「+15V 供給」に設定します。
 - ・マンションなどの共聴アンテナを使用している場合や、ブースターなどの別の機器から電源が供給されている場合は、「供給しない」に設定します。
 - ・「+11V 供給」は将来使用する場合がありますが、通常は使用しません。

- 5 アンテナ電源を変更したときは「適用」をクリックする

続いて、アンテナの受信レベルを調整します。

- 6 アンテナの向きを調整する
- アンテナの向きを調整していくと受信状態に「受信レベル：中」あるいは「受信レベル：高」と表示されます。その状態で受信レベルが最大となるようにアンテナの向きを調整して、アンテナを固定します。

- 7 「OK」をクリックする

✓チェック!!

- ・ご購入時は、アンテナ電源が「供給しない」に設定されています。
- ・「初期受信周波数」は通常、変更の必要はありません。

✓チェック!!

受信レベルについては、目安として65以上になるように調整してください。アンテナの受信レベルは、初期受信周波数・天候・季節・受信している地域（アンテナの設置場所）などによって異なります。

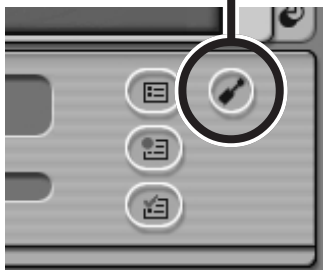
「音を鳴らす」をチェックすると、現在の受信レベルが「53」以上で音が鳴ります。

SmartVision BS にパスワードを設定する

SmartVision BSで番組の視聴/録画予約をするには、Windowsで設定しているログオンパスワードと同じパスワード(p.8)を設定しておく必要があります。

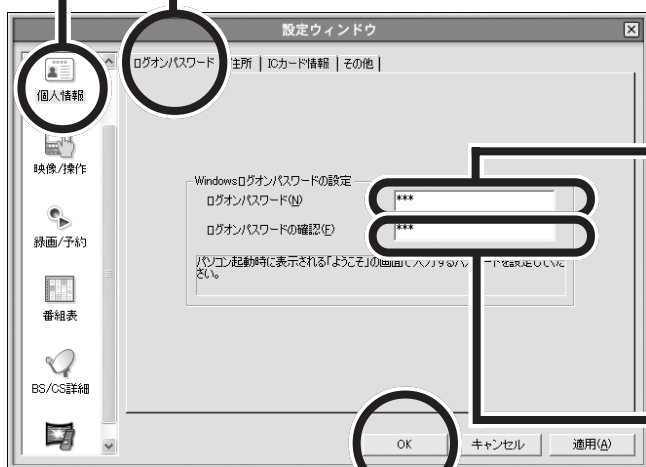
1

 (設定) をクリックする



2

設定ウィンドウの「個人情報」アイコンをクリックし、「ログオンパスワード」タブをクリックする



✓チェック!!

複数のユーザーを設定してこのパソコンをお使いの場合、すべてのユーザーアカウントについてこの設定を行ってください。

3

「ログオンパスワード」の入力欄に、ユーザーアカウントのパスワードを入力する

📖 参照

ユーザーアカウントのパスワードについて→このPARTの「Windowsのパスワードを設定する」(p.8)

4

「ログオンパスワードの確認」の欄に、手順3で入力したパスワードと同じパスワードを入力する

5

「OK」をクリックする

以上で、BS・110度CSデジタル放送を見るための準備ができました。

P A R T

2

番組を見る

SmartVision BSを操作して、BS・110度CSデジタル放送を見てみましょう。放送中の番組を一時停止したり、巻き戻したりもできます。また、データ放送を見ることもできます。

デジタル放送を見る

SmartVision BS を操作して、番組を見てみましょう。

⚠ 注意



けが注意

- ディスプレイをご使用になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。

- VISUAL モード使用時は、画面表示がより明るくなるため、周囲を十分明るくし、なるべく離れてご使用ください。

ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返す映像を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失等の症状を起こす人がいるという報告があります。こうした症状のある方は、VISUAL モードを OFF にしてご使用ください。また、VISUAL モード使用中にこのような症状が起きた場合は、すぐにご使用を中止して医師の診察を受けてください。DVD 再生あるいは TV、VideoCD 等をご覧いただく以外の場合は VISUAL モード OFF でのご使用をおすすめします。

VISUAL ボタンについて

VISUAL ボタンのついているディスプレイでは、ディスプレイ前面の VISUAL ボタンを押して、VISUAL モードにできます。VISUAL モードは、テレビや DVD をより鮮やかに楽しむための映像鑑賞モードです。VISUAL モードについて詳しくは、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

✓ チェック!!

システムの状態によっては、表示される映像が乱れることがあります。対処方法については、PART5 の「映像がコマ落ちする」(p.69) をご覧ください。

SmartVision BS を利用できる解像度と表示色は、「1,024×768 ピクセル、65,536 色 (High Color)」以上です。

📖 参照

解像度と表示色の設定について → 🖱 「サポートナビゲーター」- 「パソコン各部の説明」- 「パソコンの機能」- 「表示機能」

SmartVision BS の起動と終了

- SmartVision BS を起動する

1

「ソフトナビゲーター」の「目的で探す」- 「映像」- 「テレビ・ビデオ」- 「衛星デジタル放送を見る」- 「SmartVision BS」アイコン - 「起動する」をクリックする



画面が表示される



- ・ リモコンの【BS/CS】ボタンを押しても起動できます。

📖 参照

リモコンの使い方について → 付録の「リモコンで操作する」(p.76)

- ・ 「スタート」- 「すべてのプログラム」- 「SmartVision BS」- 「SmartVision BS」を選択しても起動できます。

✓ チェック!!

SmartVision BS 起動中は、SmartVision や SmartVision DG、bitcast browser、WinDVD などの映像を表示するソフトを同時に使用することはできません。

● SmartVision BS を終了する



リモコンの【終了】ボタンを押しても終了できます。

📖 参照

リモコンの使い方について→付録の「リモコンで操作する」(p.76)

✓ チェック!!

番組の録画中にSmartVision BSを終了すると、「録画中です。本ソフトウェア終了後も録画を継続しますか?」と表示されます。「はい」を選択すると、SmartVision BSは終了します。ただし、SmartVision BS受信マネージャは、常駐して録画を継続します。

● SmartVision BS 受信マネージャを終了させる

SmartVision BS を起動させていない状態で、録画を行っている場合

- 1 通知領域の  を右クリックする
- 2 「SmartVision BS 受信マネージャ終了」をクリックする

画面を切り換える

SmartVision BSには、フルスクリーン/スリム/ノーマル/アドバンスの4つの画面モードがあります。

画面下にある「画面モード切り換えタブ」を使って画面を切り替えます。



●ノーマルモード



✓チェック!!

SmartVision BSの画面をドラッグして広げると、設定ボタン・リストウィンドウ表示ボタンには各機能名が表示されます。

✓チェック!!

テレビ表示部で右クリックをすると、メニューが表示されます。メニューで項目を選択しクリックすることで、選択した項目の操作を実行できます。

📖 参照

- ・ SmartVision BSの設定について
→オンラインマニュアルの「いろいろな設定をする」
- ・ SmartVision BSの右クリックメニューについて→オンラインマニュアルの「BS・110度CSデジタル放送を見る」

詳しくは、オンラインマニュアルの「BS・110度CS デジタル放送を見る」-「4つの画面を切り替えて使う」-「ノーマルモード」をご覧ください。

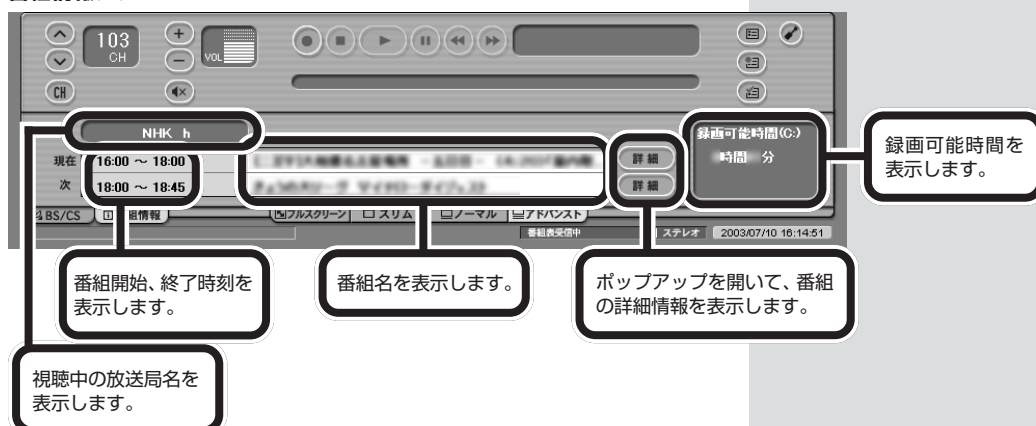
●アドバンスモード

アドバンスモードの画面の左下には、「BS/CS」と「番組情報」機能切り換えタブがあり、切り換えて操作します。

BS/CS タブ



番組情報タブ



詳しくは、オンラインマニュアルの「BS・110度CS デジタル放送を見る」-「4つの画面を切り替える」-「アドバンスモード」をご覧ください。

●スリムモード

スリムモードにすると、シンプルな画面で番組を見ることができます。また、ノーマル/アドバンスモードよりも画面のサイズを小さくすることができます。



詳しくは、オンラインマニュアルの「BS・110度CS デジタル放送を見る」-「4つの画面を切り替える」-「スリムモード」をご覧ください。

●フルスクリーンモード

ディスプレイいっぱいに画面を表示します。マウスのボタンをクリックすると元のモードに戻ります。

BS/CS1/CS2/ 録画番組を見る

SmartVision BSでは、BS デジタル放送、110度CS デジタル放送(CS1、CS2)、SmartVision BSで録画した番組を見ることができます。画面左にあるソースタブで切り換えます。



✓チェック!!

110度CS デジタル放送をご覧になるには、各放送局との契約が必要です。

📖 参照

番組の録画・再生について → 「PART 3 録画と再生をする」(p.37)

タイムシフトモードとライブモードを切り換える

SmartVision BS で番組を見るとときには、タイムシフトモードとライブモードの2種類のモードが選べます。

タイムシフトモードでは、見ている番組を一時停止したり、巻き戻したり、巻き戻したところから録画したりと、パソコンならではのテレビの楽しみ方ができます。

ライブモードでは、一時停止や巻き戻しはできませんが、パソコンにかかる負担が小さくなります。

起動時は、常にライブモードに設定されています。

●タイムシフトモードとライブモードの切換方法

画面右にあるプレイモードタブで切り換えます。



参考

- ・タイムシフトモードとライブモードについて→『TVモデルガイド』巻頭の「タイムシフトモードとライブモード」
- ・データ放送について→このPARTの「データ放送を見る」(p.31)

スリム／ノーマル／アドバンスモードのとき、TV表示部を右クリックすると、表示されるメニューからもライブとタイムシフトのモード切換ができます。

チェック!!

タイムシフトモードでは、データ放送やラジオ放送の画像を受信できません。

タイムシフトモードで一時停止・巻き戻し・早送りをする

●見ている番組を一時停止する

タイムシフトモード時には、今見ている番組を一時停止して、続きのシーンから再生できます。

一時停止の時間(タイムシフト可能時間)は、ご購入時の状態で5分に設定されています。この時間を過ぎると、自動的に再生が始まります。

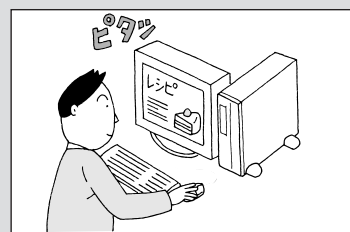
使い方

料理番組のレシピやプレゼントの応募先などをメモしたいときなどに便利です。

1

コントロールバーの⏸(一時停止)をクリックする

カウンター表示部に、リアルタイムからどのくらい遅れているのか時間が表示されます。



参考

一時停止時間の変更について→オンラインマニュアルの「いろいろな設定をする」-「録画／予約」-「タイムシフト可能時間を設定する」

スリム／ノーマル／アドバンスモードのとき、TV表示部を右クリックすると、表示されるメニューからも一時停止、巻き戻し、早送りの操作ができます。

2

 (再生) をクリックする

一時停止をしたところから再生が始まります。

3

リアルタイムに追いつきたいときは、 (早送り) をクリックする

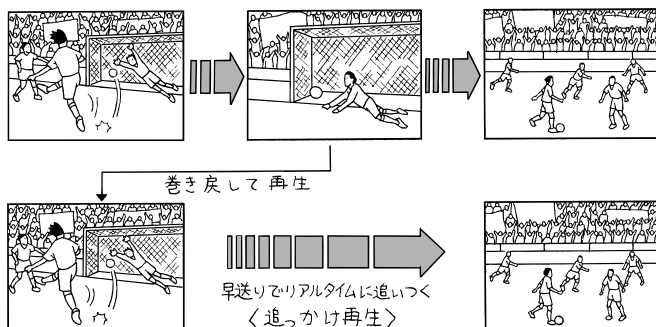
 をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。

● 見ている番組を巻き戻して見る

タイムシフトモード時には、今見ている番組を巻き戻して見るができます。巻き戻しシーンを見た後は、巻き戻し中のシーンも含めて、そのまま続きを見ることができます。

使い方

スポーツ番組などで今見たばかりのシーンをもう一度見たい場合などに使います。



1

 (巻き戻し) をクリックする

カウンター表示部に、リアルタイムからどのくらい巻き戻しているのか時間を表示します。

 をクリックするたびに、巻き戻しスピードがx3・x10・x50と速くなります。タイムシフトの先頭まで巻き戻すと、巻き戻しボタンは使用できなくなります。

タイムシフト
-00:02:01

2

見たい場面で、 (再生) をクリックする

3

リアルタイムに追いつきたいときは、 (早送り) をクリックする

 をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。

巻き戻すことができる時間は、ご購入時の状態で「5分前まで」です。最大90分まで設定できます。詳しくは、オンラインマニュアルの「いろいろな設定をする」-「録画／予約」-「タイムシフト可能時間を設定する」をご覧ください。

チャンネルを切り換える

チャンネルを切り換えて、いろいろな番組を見てみましょう。

チャンネルを切り換えるには、次の4つの方法があります。

- ・チャンネルコントロールでの切り換え
- ・キーボードでの切り換え
- ・リモコンでの切り換え
- ・番組表での切り換え

チャンネルコントロールで切り換える

チャンネルを切り換えるには、SmartVision BS画面の「チャンネルコントロール」を使います。



●チャンネル番号を入力する

1

103 CH をクリックする

2

キーボードからチャンネル番号を入力する
チャンネルが切り換わります。

●チャンネルリストから選ぶ

1

CH をクリックする

画面左のソースタブで選択されているソースの、チャンネル一覧が表示されます。

2

見たいチャンネルをクリックする
チャンネルが切り換わります。

✓チェック!!

- ・チャンネルを切り換えるときは、少し間隔をあけて操作してください。
- ・タイムシフトモード時は、チャンネル切り換えはできません。

チャンネルを切り換える前に、画面左にあるソースタブ (BS/CS1/CS2) で見たい放送を選択してください。

チャンネル番号を入力してから約1秒後にチャンネルが切り換わります。

リモコンで、【選局】ボタンを押してからチャンネル番号を押しても同じようにチャンネルを切り換えられます。

参照

リモコンの使い方について→付録の「リモコンで操作する」(p.76)

参照

番組表に表示するチャンネルを設定する→オンラインマニュアルの「いろいろな設定をする」-「番組表」-「表示/非表示チャンネルの設定をする」

✓チェック!!

画面左のソースタブで、VIDEOが選択されているときは、録画番組一覧が表示されます。

●チャンネルボタンで切り換える

▲をクリックすると、次のチャンネル（数字が大きいチャンネル）に切り換わります。

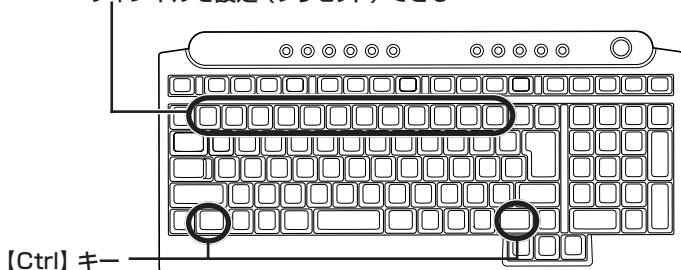
▼をクリックすると、前のチャンネル（数字が小さいチャンネル）に切り換わります。

キーボードやリモコンで切り換える

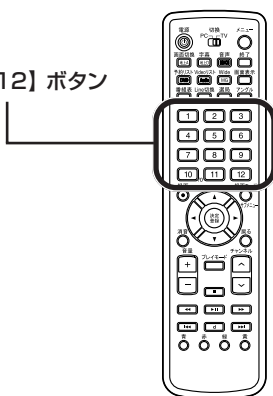
キーボードの【1】～【8】キーや、リモコンの【1】～【12】ボタンにチャンネルを設定（プリセット）して、チャンネルを切り換えることができます。

キーボードで操作するときは、【Ctrl】キーを押しながら、プリセットしたキーを押します。

チャンネルを設定（プリセット）できる



【1】～【12】ボタン



キーボードの【Ctrl】+【↑】キー/【Ctrl】+【↓】キーやリモコンの【チャンネル切換】ボタンでも同じように操作できます。

キーボードやリモコンでの操作は、データ放送を見ているときは、データ放送の操作になる場合があります。

参照

データ放送について→このPARTの「データ放送を見る」(p.31)

キーボードの形状はモデルによって異なります。

参照

リモコンの使い方について→付録の「リモコンで操作する」(p.76)

●ご購入時のプリセット設定

ご購入時は、以下のように設定されています。

キーボード	リモコン	BS	CS1	CS2
Ctrl+	1	【1】	101CH	1CH
	2	【2】	102CH	999CH
	3	【3】	103CH	963CH
	4	【4】	141CH	11CH
	5	【5】	151CH	55CH
	6	【6】	161CH	900CH
	7	【7】	171CH	700CH
	8	【8】	181CH	未設定
	9	【9】	191CH	90CH
	0	【10】	200CH	未設定
	-	【11】	未設定	未設定
	^	【12】	未設定	未設定

参照

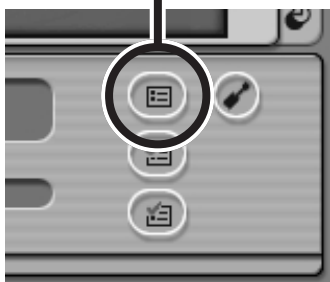
プリセット設定を変更する→オンラインマニュアルの「いろいろな設定をする」-「プリセットチャンネル」-「プリセットチャンネルの設定を変更する」

番組表を使って切り換える

衛星から受信する番組表を使って、見たい番組を表示します。

1

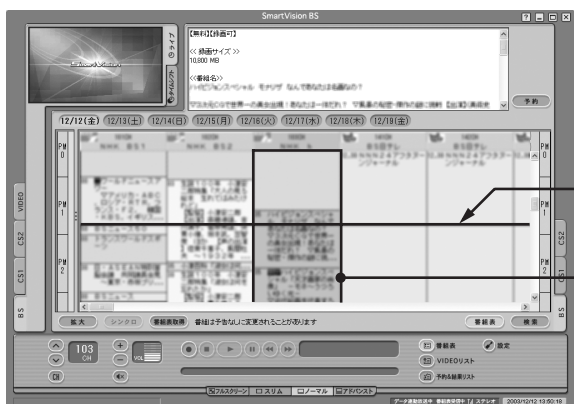
(番組表) をクリックする



番組表が表示される

2

見たい番組を選んでダブルクリックする



現在の時刻が
青い線で表示
されます。

選択している
チャンネルは、
ピンク色
の枠で囲ま
れています。

- ・元の画面に戻すときは、もう一度 (番組表) をクリックします。
- ・放送開始前の番組を選んだときは、「予約設定」画面が表示されます。
→ PART4 の「番組を予約する」(p.57)

番組表の使い方について詳しくは、PART4の「番組表を使う」(p.54)をご覧ください。

音量を調節する

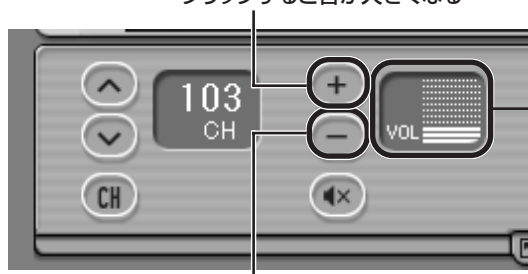
パソコンから出る音がうるさいときや、小さくて聞こえないときは、音量を調節します。

音声コントロールで調節する

●ノーマルモード／アドバンスモードの場合

SmartVision BSの「音声コントロール」で音量を調節します。

クリックすると音が大きくなる

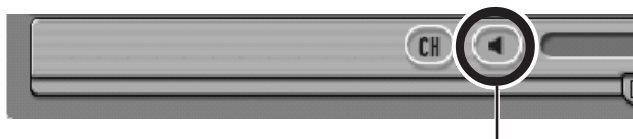


音量を12段階で表示、クリックして音量を調節できる

クリックすると音が小さくなる

●スリムモードの場合

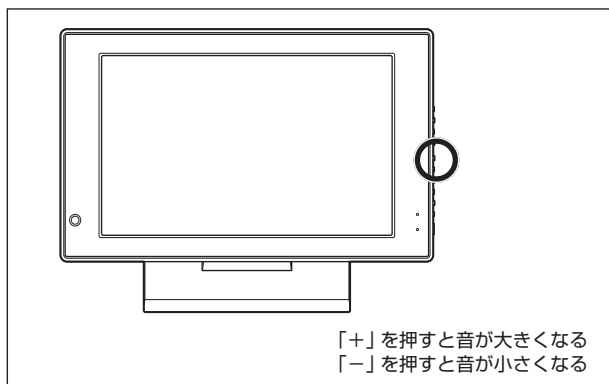
SmartVisionの「ボリュームコントロールメニュー」で音量を調節します。



スリムモード中に  をクリックすると「ボリュームコントロールメニュー」が表示されます。

ディスプレイ、キーボード、リモコンで調節する

●ディスプレイのスピーカ音量を調節する



「+」を押すと音が大きくなる
「-」を押すと音が小さくなる

SmartVision BSの音量は、Windowsの「ボリュームコントロール」の「補助入力」「ライン入力」と連動しています。



ボリュームコントロール

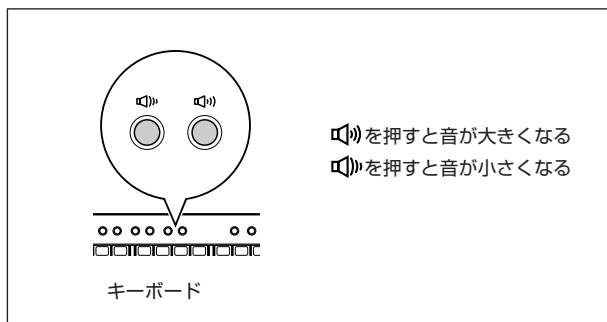
「補助入力」は標準の状態では表示されません。表示するときは、「オプション」-「プロパティ」をクリックして、「表示するコントロール」から選択してください。

メニューの項目を選び、クリックしてください。

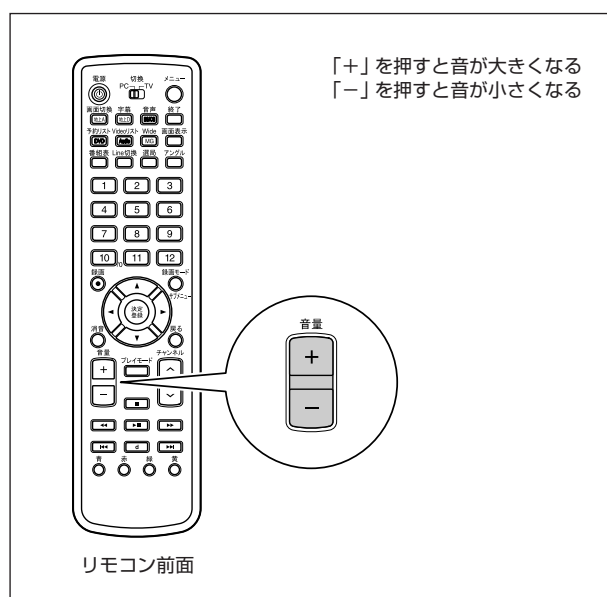
- ・音量+ ... 音量を1目盛り上げます。
- ・音量- ... 音量を1目盛り下げます。
- ・音量 音量メニューが表示されます。選択した音量に調整されます。
- ・消音 音声のミュート／ミュート解除ができます。

ディスプレイの形状は、モデルによって異なります

●キーボードで音量を調節する



●リモコンで音量を調節する



✓チェック!!

- ・ディスプレイのスピーカの音量が最小になっていると、キーボードのスピーカーやリモコンの「+」を押してもスピーカからの音は大きくなりません。
- ・リモコンの【音量調節】ボタンやキーボードのボリュームボタンは、Windows の「ボリュームコントロール」の「ボリューム コントロール」と連動しています。



ボリュームコントロール

📖参照

- ・リモコンの使い方について→付録の「リモコンで操作する」(p.76)
- ・ボリュームコントロールについて→👉「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「サウンド機能」

データ放送を見る

データ放送で、最新のニュースや天気予報など、多彩な情報を手に入れましょう。双方向サービスもあります。

データ放送とは

データ放送とは、文字や静止画像で構成された番組です。番組に関連した内容を表示するデータ放送(番組連動データ放送)と、データ放送として独立した番組(独立データ放送)があります。電話回線を使って、クイズやアンケートに参加できる番組や、オンラインショッピングなどの双方向サービスが利用できます。

データ放送を表示する

1

表示している番組がデータ放送かどうか確認する

データ放送の場合は、インジケータに「データ連動放送中」と表示されます。



2

アドバンスモード画面に切り換えて、「BS/CS」をクリックする

3

d をクリックする



データ放送画面が表示されます。

チェック!!

- ・データ放送を見るときは、ライブモードにしてください。
- ・録画済み番組では、双方向サービスを利用できません。
- ・データ放送の画面が表示されるまでに、しばらく時間がかかる場合があります。

SmartVision BSは、日本電気(株)のフォント「FontAvenue」を使用しています。

ラジオ放送や独立データ放送では、「データ連動放送中」のインジケータは表示されません。

参照

アドバンスモード画面に切り換える→このPARTの「画面を切り換える」(p.19)

アドバンスモード画面に切り換えなくても、キーボードの【D】キーやリモコンの【d】ボタンでデータ放送画面を表示することができます。

データ放送の画面操作について

データ放送は、アドバンスモード画面で操作します。



ををクリックして項目を移動して、**決定**をクリックして選択します。
 たとえば上の画面で「おみやげ」を見たい場合は、を2回クリックして
 「おみやげ」を選択（反転表示）し、**決定**をクリックします。
 画面上の項目やボタンに色が付いているものは、同じ色の
 青 赤 緑 黄 をクリックして選択できます。
 データ放送の画面の指示にしたがって操作してください。

●キーボードで操作する

画面上のボタン	キーボード
	【↑】 【↓】 【←】 【→】
	【Enter】
(青)	【B】
(赤)	【R】
(緑)	【G】
(黄)	【Y】
	【D】
	【BackSpace】

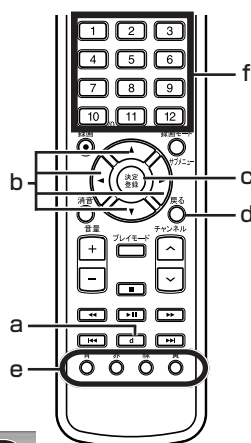
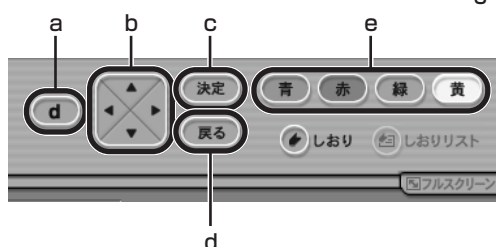
✓チェック!!

データ放送の画面を直接マウスでクリックして操作することはできません。

数字を入力するときは、キーボードの【0】～【9】キーを使用してください。

●リモコンで操作する

- ・ a : [d] ボタン
- ・ b : 【矢印キー (▲▼◀▶)】 ボタン
- ・ c : 【決定登録】 ボタン
- ・ d : 【戻る】 ボタン
- ・ e : 【カラー】 ボタン
- ・ f : 【チャンネル／番号】 ボタン



参照

リモコンの使い方について→付録の「リモコンで操作する」(p.76)

データ放送を見るとき注意

- ・ 録画したデータ放送番組を再生して見る場合、データ放送の一部の操作ができません。また、電話回線を使用したデータの送受信ができません。
- ・ データ放送を見るときは、ライブモードにしてください。タイムシフトモードではデータ放送を表示できません。
 - 連動データ放送の場合、映像と音声のみになります。
 - ラジオ番組の場合、音声のみになります。
 - 独立データ放送の場合、自動的にライブモードに切り換わります。
- ・ データ放送の番組は、チャンネルを切り換えてすぐに表示されないことがあります。すべてのデータが表示されるまで、チャンネルを切り換えないようにしてください。

その他の番組サービスについて

BS・110度CSデジタル放送には、有料放送、字幕放送などいろいろなサービスがあります。

ラジオ放送を聴く

BS・110度CSデジタル放送では、テレビ番組だけでなくラジオ番組も放送されています。番組表からラジオ放送局の番組を選んでダブルクリックしてください。

番組によっては、映像もいっしょに楽しめます。

映像が表示される番組の場合、表示されるまでにしばらく時間がかかることがあります。また、タイムシフトモードでは、ラジオ放送の映像を受信することができません。ラジオ放送の映像は、ライブモードで視聴してください。

有料放送を見る

BSデジタル放送では、WOWOW やスターチャンネルなどが有料放送を行っています。110度CSデジタル放送では、スカイパーフェクTV！110(CS1、CS2)がサービスを行っており、毎月の基本料金と、チャンネルパック月額視聴料金を支払う必要があります。有料放送を受信するためには別途契約が必要です(すでに契約済みの場合は不要です)。詳しくは、各放送局にお問い合わせください。

● PPV (ペイ・パー・ビュー) を見る

PPV (ペイ・パー・ビュー) は、番組単位で購入ができる有料番組のことです。PPV (ペイ・パー・ビュー) の番組を選んだときは、番組購入確認の画面が表示されます。

録画できる番組の場合は「録画購入する」、「購入しない」のどちらかを選択してください。

録画不可の番組の場合は「視聴購入する」、「購入しない」のどちらかを選択してください。

PPV (ペイ・パー・ビュー) のうち有料 (追加料金) で録画できる番組の場合は、番組購入確認の画面が表示されます。

「視聴購入する」、「録画購入する」、「購入しない」のいずれかを選択してください。

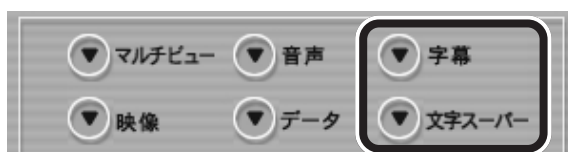
詳しくは、オンラインマニュアルの「BS・110度CSデジタル放送を見る」-「テレビ番組・ラジオ番組を見る」-「PPV (ペイ・パー・ビュー) を見る」をご覧ください。

✓ チェック!!

- ・ PPV (ペイ・パー・ビュー) はライブモードで購入してください。購入した後に、タイムシフトモードに切り換えることもできます。
- ・ プレビュー中 (番組購入前に視聴できる期間) に番組を購入しなかった場合は、プレビュー終了後映像が表示されなくなります。
- ・ 録画可能な番組で、プレビュー期間が終わったあとも録画を続けたい場合は、プレビュー中に番組を購入してください。購入しないで録画を続けた場合、プレビュー終了後は映像のない黒画面が録画されます。

字幕や文字スーパーを表示する

見ている番組が字幕放送の場合、字幕を表示できます。また、視聴中に文字スーパーを受信した場合、文字スーパーを表示することができます。
アドバンスモードのBS/CS画面でサービス切り換えボタンをクリックして、表示された一覧から選択してください。



詳しくはオンラインマニュアルの「BS・110度CSデジタル放送をもっと楽しむ」-「いろいろな番組サービスを利用する」-「字幕や文字スーパーを利用する」をご覧ください。

映像や音声を切り換える

見ている番組に複数の映像や音声がある場合、切り換えることができます。
アドバンスモードのBS/CS画面でサービス切り換えボタンをクリックして、表示された一覧から選択してください。



詳しくは、オンラインマニュアルの「BS・110度CSデジタル放送をもっと楽しむ」-「いろいろな番組サービスを利用する」-「複数の映像や音声を切り替える」をご覧ください。

リモコンの【字幕】ボタンを押しても字幕表示を切り換えることができます。

✓チェック!!

番組に字幕や文字スーパーがない場合は、ボタンをクリックすることはできません。

📖参照

字幕や文字スーパーの表示の設定→オンラインマニュアルの「いろいろな設定をする」-「BS/CS詳細」-「文字スーパー / 字幕を表示する」

リモコンの【音声】ボタン、【アングル】ボタンを押しても切り換えることができます。

📖参照

リモコンの使い方について→付録の「リモコンで操作する」(p.76)

✓チェック!!

番組に複数の映像や音声がない場合は、ボタンをクリックすることはできません。

P A R T

3

録画と再生をする

SmartVision BSを使うと、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送をパソコンのハードディスクに録画して、いつでも見ることができます。また、録画中の番組を録画終了を待たずに再生したり、見ている番組を巻き戻して録画したりもできます。これらの便利な機能を使って、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を楽しめます。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

番組を録画／再生する

番組を動画のままパソコンに取り込みましょう。取り込んだ動画はこのパソコンでいつでも再生できます。

録画について

SmartVision BS では、一般のビデオ機器や SmartVision と同じように、番組を録画できます。SmartVision BS での録画は、SmartVision と同じようにハードディスクに番組を録画しますが、SmartVision よりも多くのハードディスク容量を使います。

録画した番組はこまめに DVD-R/RW や CD-R/RW に保存したり、不要な番組を削除したりして、ハードディスク容量が不足しないようにしてください。

●録画するときの注意

SmartVision BSでは、SmartVisionと同じように番組を録画できます。ただし、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を録画する場合は次のような制限があります。注意してください。

- ・録画できない番組がある
一部の番組は、視聴はできますが録画はできません。また、番組によっては録画するために番組購入が必要な場合があります。番組が録画できるかどうかは、「番組表」画面の「番組情報」欄で確認できます。
- ・録画した番組は編集できない
SmartVision BSで録画した番組は、このパソコンに添付、または市販の動画編集ソフトで編集することはできません。
- ・他のソフトでは再生できない
SmartVision BSで録画した番組は、SmartVision BSでのみ再生できます。他の動画再生ソフトでは再生できません。
- ・他のパソコンでは再生できない
SmartVision BSで録画した番組は、録画したパソコンのSmartVision BSでのみ再生できます。録画したパソコンと異なるパソコンでは、SmartVision BSを使っても番組は再生できません。

●録画に必要なハードディスク容量について

SmartVision BS では、録画する番組の種類によって録画に必要なハードディスク容量が違うので、注意してください。

番組の種類と、録画に必要なハードディスク容量は次の通りです。

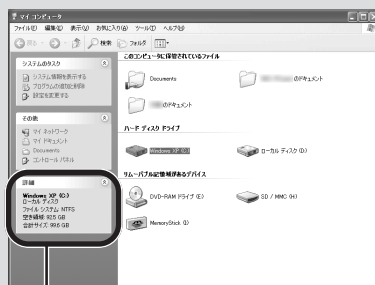
録画内容	1時間の録画に必要なハードディスク容量
デジタルハイビジョン	約10.8Gバイト
デジタル標準テレビ	約5.4Gバイト
独立データ放送/ラジオ	約990Mバイト

✓チェック!!

システムの状態によっては、表示される映像が乱れることがあります。対処方法については、PART5の「映像がコマ落ちする」(p.69)をご覧ください。

✓チェック!!

- ・録画中や再生中にエラーが発生した場合は、パソコンを再起動してご使用ください。
- ・デジタルハイビジョン番組の録画には特に多くのハードディスク容量が必要になります。ハードディスク容量に注意してください。ハードディスク容量は、「マイコンピュータ」ウィンドウでドライブをクリックすると確認できます。



「詳細」欄にハードディスクの容量が表示されます

●録画の制限について

録画中に次のような状態になると、録画は自動的に終了されます。

- ・「設定ウィンドウ」-「録画／予約」-「録画／タイムシフト」の「録画を停止する空き容量サイズ」で設定している容量（ご購入時の状態では「900MB」）よりハードディスクの残り容量が少なくなったとき
- ・ハードディスクへの書き込み時にエラーが起きたとき
- ・放送休止状態になったとき
- ・番組の受信ができなくなったとき
- ・番組が、録画不可属性になったとき
- ・受信状態が不安定なとき

参照

ハードディスクの残り容量について
→オンラインマニュアルの「いろいろな設定をする」-「録画／予約」-「録画を停止する空き容量サイズを設定する」

見ている番組を録画する

1

SmartVision BS を起動する

2

録画したい番組を表示する



3

（録画）をクリックする

録画が始まります。

録画中は、カウンターに録画時間または録画終了までの時間が表示されます。

参照

SmartVision BSの起動→PART2
の「SmartVision BSの起動と終了」
(p.18)

参照

テレビ番組のチャンネル切り換え→
PART2の「チャンネルを切り換える」
(p.25)

チェック!!

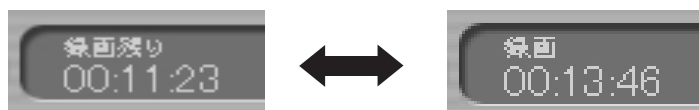
番組によっては、録画できないもの
や、録画しても正常に再生できない
ものがあります。

録画時にを連続してクリックすると、録画する時間を次のように設定できます。

エンドレス(停止ボタンをクリックするまで)→番組終了まで※→15分→30分→60分→90分→120分→エンドレス(停止ボタンをクリックするまで)→…

※放送中の番組情報が取得できない場合はエンドレスとなります

カウンターをクリックすると次のように録画時間表示が変わります。(エンドレスで録画している場合を除く)



4

「エンドレス」で録画している場合、録画を終了するときは (停止) をクリックする

録画した番組は、自動的にパソコンのハードディスクに保存されます。

参照

- ・ 録画した番組を再生するときは→このPARTの「VIDEOリストから選んで再生する」(p.43)
- ・ 録画終了を待たずに再生するときは→このPARTの「録画しながら再生する」(p.42)
- ・ 録画に必要なハードディスク容量について→このPARTの「録画について」(p.38)
- ・ 番組表を受信する→PART4の「番組表を受信する」(p.56)

タイムシフト録画（巻き戻して録画する）

視聴中の番組を巻き戻して録画できます。

SmartVision BS のタイムシフトモードでは、見ている番組を録画していないときでも、一定時間の番組データをパソコンのハードディスクに書き込んでいます。書き込まれた番組データを巻き戻して録画保存します。巻き戻せる時間は、1 分～90 分の間で設定できます（ご購入時の状態では5 分です）。

使い方

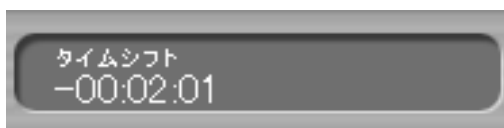
番組をしばらく見ていて、「さっきのシーンから録画しておけばよかった」というときに利用します。

また、「ここから録ろう」というとき、すぐに録画ボタンをクリックしても若干の誤差で録画されない部分が出るため、通常の録画のときも巻き戻してから録画すると確実です。

1

◀(巻き戻し) をクリックする

カウンターに、リアルタイムからどのくらい巻き戻しているのか時間を表示します。



2

▶(再生) をクリックする

3

録画を開始したい場面で、●(録画) をクリックする

録画開始時および録画中に●を連続してクリックすると、録画時間を設定できます。設定できる時間については、このPARTの「見ている番組を録画する」(p.39)をご覧ください。

4

リアルタイムに追いつきたいときは、▶▶(早送り) をクリックする

▶▶をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。

5

録画を終了するときは、■(停止) をクリックする

録画を終了するときは、手順4の方法でリアルタイムに追いついてから停止することをおすすめします。

✓チェック!!

- ・巻き戻し録画は、あらかじめタイムシフトモードになっていないとご使用になれません。
- ・巻き戻せるのは、それまでタイムシフトモードで見ていた番組に限られます。それまで受信していなかった番組や、ライブモードで受信していた番組を巻き戻して録画することはできません。
- ・タイムシフトモードで巻き戻し中に進行しているシーンもカットされることなく、録画できます。
- ・タイムシフトモードでは、連動データ放送やラジオ放送のデータ放送は録画できません。

✓チェック!!

- ・タイムシフトでさかのぼって録画する場合、それまでにハードディスクに書き込まれていた番組が録画保存されます。このときリアルタイムに受信している番組のハードディスクへの書き込みも同時に行われています。そのため、たとえば、5 分巻き戻して録画開始し、30分後に録画を停止させた場合、計35 分の録画ファイルが保存されることになります。ハードディスクの空き容量にご注意ください。
- ・番組によっては、タイムシフト視聴も録画もできない番組や、タイムシフト視聴はできても録画はできない番組などもあります。各番組の詳細については、番組表の「番組情報」で確認できます。

録画しながら再生する

タイムシフトモードで録画している最中に、すでに撮ったシーンを巻き戻して再生することができます。早送り再生をして、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

1

録画中に  (巻き戻し) をクリックする

2

 (再生) をクリックする

巻き戻したところから再生が始まります。

3

リアルタイムに追いつきたいときは、 (早送り) をクリックする

 をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。

✓チェック!!

予約録画は、必ずライブモードで実行されます。そのため、録画予約で録画しているときは巻き戻しはできません。

録画中に一時停止や再生、早送りをしても録画は中断されないでそのまま続行されています。

録画を終了する

使い方

録画を終了するときに使用します。

1

録画中に、 (停止) をクリックする

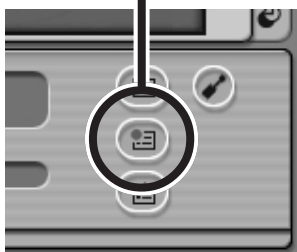
録画予約する

「PART4 番組表から視聴／録画予約する」(p.53) をご覧ください。

VIDEO リストから選んで再生する

1

(VIDEO リスト) をクリックする



↓ 「VIDEO リスト」が表示される

2

再生したい録画番組の保存先を指定する

通常は、「設定」-「録画 / 予約」-「録画 / タイムシフト」タブの「録画番組保存先」で指定した保存先（ご購入時の状態では「C:\¥Documents and Settings¥All Users¥Documents¥My Pictures」）が表示されます。変更する場合は「フォルダ」欄に表示されているフォルダを指定するか、「追加」をクリックして番組が保存されているフォルダを指定してください。



3

再生したい番組をクリックする

番組が選択され、反転表示されます。水色で表示されている番組は、まだ一度も再生していない番組です。番組名に「シークレット録画」と表示されている番組は、再生できません。再生する場合は、録画したユーザーアカウントでログインしてください。

✓チェック!!

タイムシフトモードでは、VIDEO リストからの再生はできません。ライブモードに戻してから操作してください。

📖参照

ライブモードとタイムシフトモードについて→PART2の「タイムシフトモードとライブモードを切り換える」(p.23)

📖参照

録画番組の保存先を変更するには→オンラインマニュアルの「いろいろな設定をする」-「録画 / 予約」-「録画ファイルの保存先を指定する」

✓チェック!!

- ・保存先を変更したり、エクスポートをして別のフォルダに整理した場合は、「追加」をクリックしてフォルダを追加できます。
- ・予約録画をしたのに、一覧に番組のタイトルがない場合は、「結果リスト」で予約結果を確認してください。

📖参照

- ・エクスポートについて→このPARTの「エクスポートする」(p.44)
- ・予約結果を確認するには→PART4の「予約した録画が成功したか確認する」(p.64)

4

(再生) をクリックする
再生が始まります。

録画した番組データを整理する

録画した番組データは非常に容量が大きいので、多くの番組を録画するとハードディスクの容量が足りなくなることがあります。そうならないために、録画したデータを他のメディアに保存することができます。

エクスポートする

エクスポート機能を使うと、録画した番組のデータを指定のフォルダに保存することができます。また、分割して保存することもできるので、DVD-Rなどに保存するときにも便利です。

ここでは例として、約1時間のデジタルハイビジョン番組(約10.8Gバイト)をDVD-Rに保存するためにエクスポートする手順を説明します。

1

 (VIDEO リスト) をクリックする

「VIDEO リスト」が表示されます。

2

エクスポート(分割して保存)したい番組をクリックして選択する



3

 エクスポート をクリックする

「エクスポート」ウィンドウが表示されます。



DVD-Rなどにデータとして保存するときは、RecordNow DX などをお使いください。

 参照

RecordNow DX について→このPARTの「RecordNow DX を使ってDVDに保存する」(p.46)

 チェック!!

エクスポートした番組は、エクスプローラなどで録画データをダブルクリックして再生することはできません。必ず SmartVision BS の「VIDEO リスト」から再生してください。

 参照

録画した番組を再生する→このPARTの「VIDEO リストから選んで再生する」(p.43)、「DVDに保存した番組を SmartVision BS で再生する」(p.49)

4 をクリックして出力先フォルダを指定する
ここでは例として、「マイ コンピュータ」-「Documents」を指定します。

5 ベースファイル名（エクスポートしたファイルに付く名前）を指定する

6 「サイズを指定」の ☐ を ☒ にする

7 分割サイズを指定する

8 「分割単位を 1 つの番組とする」の ☐ を ☒ にする

9 「OK」をクリックするとエクスポートが始まります。

エクスポートが終わったら、手順 4 で指定したフォルダを開いてエクスポートしたファイルを確認します。

「マイコンピュータ」-「Documents」を指定した場合は、「スタート」-「マイ コンピュータ」-「Documents」をクリックします。

表示される画面は、お使いの機種、環境によって異なる場合があります。



エクスポートした番組は、手順 5 でつけたベースファイル名にしたがって「SmartVision BS録画番組管理情報ファイル」と番組データの入ったフォルダに分けられます。各ファイルとフォルダは次のようになっています。

エクスポートしたデータ	ファイルとフォルダの内容
<ベースファイル名>のファイルとフォルダ	分割した番組の先頭のデータです。
<ベースファイル名>001のファイルとフォルダ	分割した番組の2番目のデータです。
<ベースファイル名>002のファイルとフォルダ	分割した番組の3番目以降のデータです。分割した数だけ、番号が増えます。

分割された番組は、「SmartVision BS録画番組管理情報ファイル」と番組データの入ったフォルダの2つセットになります。

この例では、番組は3つに分割されています。最初のデータは「○○スポーツ」ファイルと「○○スポーツ」フォルダのセットに、2番目のデータは「○○スポーツ001」ファイルと「○○スポーツ001」フォルダのセットに、3番目のデータは「○○スポーツ002」ファイルと「○○スポーツ002」フォルダのセットになります。

✓チェック!!

- ・エクスポート機能で分割した番組を、あとでCDやDVDに保存する場合は、保存するメディアの容量に合ったサイズで分割してください。分割するファイルサイズの目安は次の通りです。
CD-R/RW メディア (650Mバイト) の場合: 645 Mバイト
DVD-R/RW、DVD+R/RW メディアの場合: 4000Mバイト
- ・分割せずにそのまま出力することもできます。外付けのハードディスクなどに保存するときに便利です。

📖 参照

番組をDVDに保存する→このPARTの「RecordNow DXを使ってDVDに保存する」(p.46)

✓チェック!!

- ・録画ファイルは、このパソコンでのみ再生できます。他のパソコンでは再生できません。
- ・エクスポート実行中に録画予約が実行された場合は、エクスポートは中断されます。録画予約が終了してから、再度エクスポートを実行してください。
- ・エクスポート機能の詳しい使い方についてはオンラインマニュアルの「番組を録画・再生する」-「録画ファイルをエクスポートする」をご覧ください。

RecordNow DX を使って DVD に保存する

エクスポート機能で分割した録画番組を、DVD-R/RWやDVD+R/RW、CD-R/RW に保存できます。

ここでは例として、「エクスポートする」(p.44)でエクスポートした番組を DVD-R に保存する手順を説明します。

DVD-RW、DVD+R/RW、CD-R/RW などにも同様の手順で保存できます。

1

「ソフトナビゲーター」の「目的で探す」-「音楽」-「CD を楽しむ」-「オリジナル CD を作る」-「RecordNow DX」アイコン-「起動する」をクリックする

RecordNow DX が起動します。



2

「データディスクの作成」をクリックする

「新規データディスクの作成」が表示され、ディスクトレイが自動的に開きます。

3

CD/DVD ドライブに、未使用の DVD-R メディアをセットする

4

「次へ」をクリックする

5

「フォルダとファイルを追加」をクリックする

「追加するファイルとフォルダを選択」画面が表示されます。

✓チェック!!

メディアによって、保存できる容量が異なります。エクスポートをするときは、保存するメディアにあったサイズで保存してください。

📖 参照

RecordNow DX について → 🖱️ 「サポートナビゲーター」-「ソフトの紹介と説明」-「ソフト一覧」

6

「エクスポートする」の手順4、手順5 (p.45) で指定した「マイ コンピュータ」-「Documents」をクリックし、ファイルを表示する



7

「○○スポーツ」ファイルをクリックする
「ファイル名」欄に「○○スポーツ .bci」と表示されます。

8

「追加」をクリックする
選択したファイルが追加されます。

9

「フォルダとファイルを追加」をクリックし、手順6で表示したフォルダをもう一度表示する



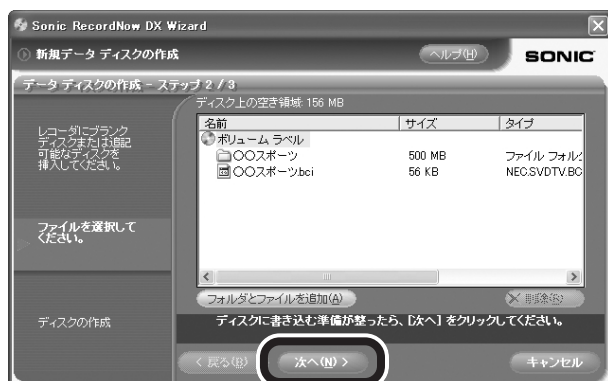
10

「○○スポーツ」フォルダをクリックする
「ファイル名」欄に「○○スポーツ」と表示されます。

11

「追加」をクリックする

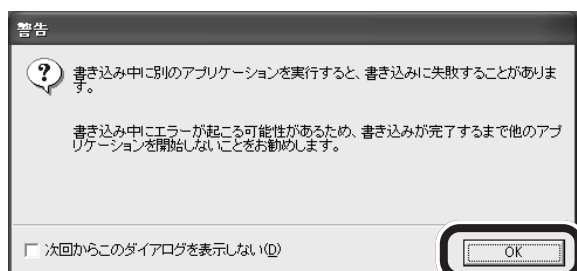
選択したフォルダが追加されます。



12

「次へ」をクリックする

次の画面が表示されます。



13

「OK」をクリックする

書き込みがはじまります。書き込みが終了すると、画面が表示され、ディスクトレイが自動的に開きます。

14

ディスクトレイからメディアを取り出し、「完了」をクリックする

15

RecordNow DX を終了する

これで、番組がDVD-Rへ保存されました。
保存したデータの再生方法については次の「DVDに保存した番組をSmartVision BSで再生する」をご覧ください。

✓チェック!!

DVDなどに保存するときは、必ず「SmartVision BS録画番組管理情報ファイル」と対応した番組データのあったフォルダの両方をセットで保存してください。片方のみ保存すると、再生ができません。

DVD に保存した番組を SmartVision BS で再生する

DVD-Rに保存した番組を、SmartVision BSで再生する方法を説明します。
DVD-RWやDVD+R/RW、CD-R/RWに保存した番組も同様の手順で再生できます。

1

SmartVision BS を起動する

2

**「RecordNow DX を使って DVD に保存する」
(p.46)で番組を保存した DVD-R を CD/DVD
ドライブにセットする**

「Windows が実行する動作を選んでください」というウィンドウが表示されたときは、「何もしない」をクリックしてから「OK」をクリックしてください。

3

(VIDEO リスト) をクリックする

「VIDEO リスト」が表示されます。



4

「追加」をクリックする

「フォルダの参照」画面が表示されます。

5

**「マイ コンピュータ」の下にある保存した DVD-R
をクリックする**

6

「OK」をクリックする

「フォルダ」欄に「E」が追加されます。

✓チェック!!

- ・ SmartVision BSで録画した番組は、このパソコンでのみ再生できます。他のパソコンでは再生できません。
- ・ 「エクスポートする」の手順 8 (p.45)で「分割後も全体を1つの番組とする」を選択して、複数のDVDメディアに保存した場合は、分割したすべてのデータを一度ハードディスクの同じフォルダに保存し直してから再生します。
- ・ DVDに保存した番組を直接再生する場合、映像が乱れたり、スムーズに再生できない場合があります。その場合は、DVDのデータを一度ハードディスクの任意のフォルダにコピーして、そのフォルダを手順4～手順5の操作で追加してください。

📖参照

SmartVision BSの起動→PART2
の「SmartVision BSの起動と終了」
(p.18)

お使いの機種によって、追加されるフォルダの名前が異なる場合があります。



7 フォルダに名前を入力し、[Enter] を押す
DVD-R に保存した番組が表示されます。

8 再生したい番組をクリックする

9 **再生** をクリックする

番組が再生されます。

✓チェック!!

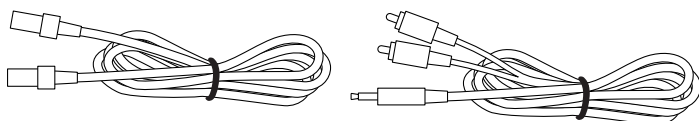
- ・ フォルダ名は、「DVD-R」などわかりやすい名前を付けてください。フォルダ名は、フォルダを右クリックして「フォルダ名変更」をクリックするといつでも変更できます。
- ・ プレイモードがタイムシフトモードの場合は、ライブモードに切り換えてから録画番組を再生してください。

ビデオテープへ保存する

このパソコンとビデオデッキを接続して、映像や音声を、ビデオテープなどに保存できます。

●用意するもの

パソコンを接続する機器によって必要なものが異なります。市販のS映像用ケーブル(または映像用ケーブル)と市販の音声用ケーブル(ステレオミニプラグ・ピンプラグ×2)を使って接続します。



S映像用ケーブル
(または映像用ケーブル)

音声用ケーブル

●接続する

ビデオデッキの入力端子とBS・110度CSデジタルチューナボードの出力端子を接続します。

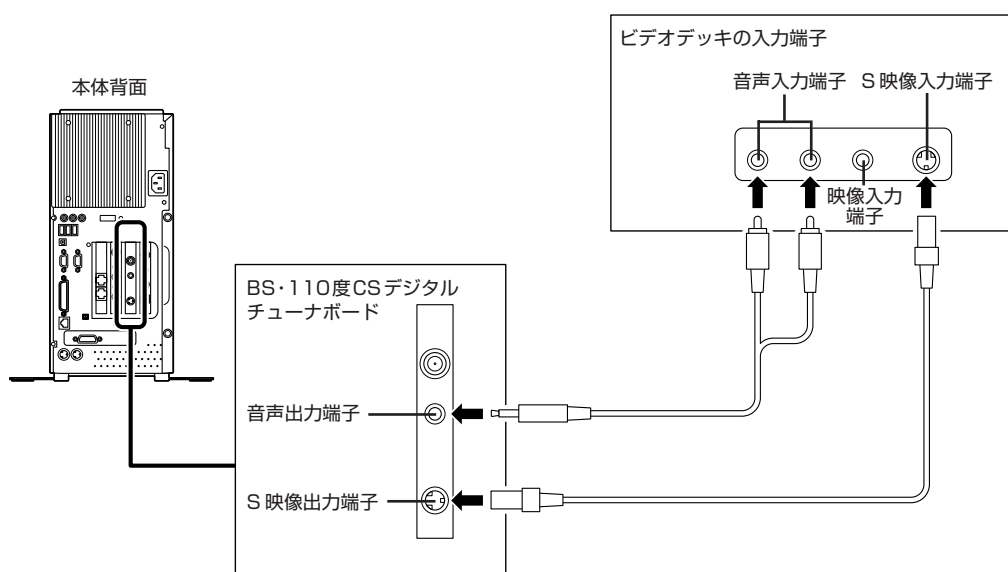
地上アナログTV/データボードにも同じ出力端子があるので、間違わないようにBS・110度CSデジタルチューナボードの端子と接続してください。

✓チェック!!

接続する機器にS映像入力端子がついていない場合は、通常の映像用ケーブルを利用してください。詳しくは次のページの「こんなときは」をご覧ください。

✓チェック!!

外部機器の接続について詳しくは、各機器に添付のマニュアルをご覧ください。

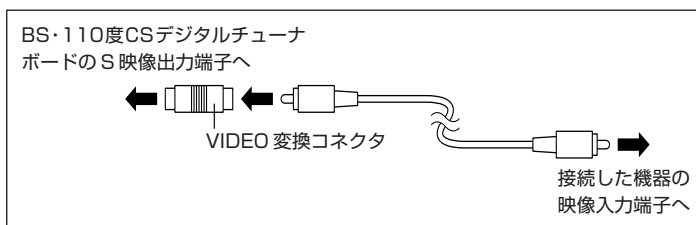


こんなときは



S映像入力端子のない外部機器につなぎたい

S映像用ケーブルのかわりに、市販の映像用接続ケーブルと添付の VIDEO 変換コネクタを接続して使うことができます。



●番組をビデオテープに録画する

接続したビデオデッキで、SmartVision BSで録画した映像を録画します。

1

ビデオデッキで外部入力画面の録画操作をする

2

ビデオテープに録画したい番組を SmartVision BS で再生する



番組の再生が終了したら、ビデオデッキの録画を終了してください。これで、SmartVision BSで録画した番組をビデオテープに保存できました。

✓チェック!!

ビデオデッキの操作については、お使いのビデオデッキのマニュアルをご覧ください。

📖 参照

再生について→このPARTの「VIDEOリストから選んで再生する」(p.43)

✓チェック!!

- ・ビデオテープに録画される映像は、標準テレビ放送と同レベルの画質になります。
- ・ビデオテープに録画した場合、本編の映像は録画されますが、データ放送の画面は録画されません。
- ・ビデオデッキでの録画中に、録画番組の再生やSmartVision BSを終了しないでください。
- ・BS・110度CSデジタル放送には、コピーガード（録画防止機能）がついている番組があります。このような番組は、ビデオデッキで正しく録画できません。

P A R T

4

番組表から視聴／録画予約する

SmartVision BSでは、見たい番組を見のがさないように視聴予約したり、ビデオのように番組を録画予約することができます。予約は、パソコンに取り込んだ番組表から設定ができます。また、ジャンルや出演者など、いろいろな条件で番組を探すこともできます。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

番組表を使う

クリックすると予約もできる番組表を使ってみましょう。

番組表を見る

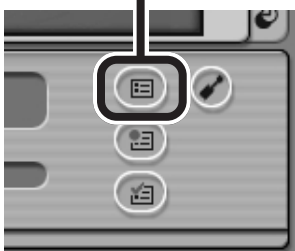
SmartVision BS では、BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送の番組表を受信して画面上に表示できます。表示した番組表から録画予約をしたり番組の詳細情報を見たりと便利な使い方ができます。

1

SmartVision BS を起動する

2

 (番組表) をクリックする



番組表が表示される



3

「番組表切り換えタブ」で見たい番組表をクリックする

BS : BS デジタル放送の番組表が表示されます。

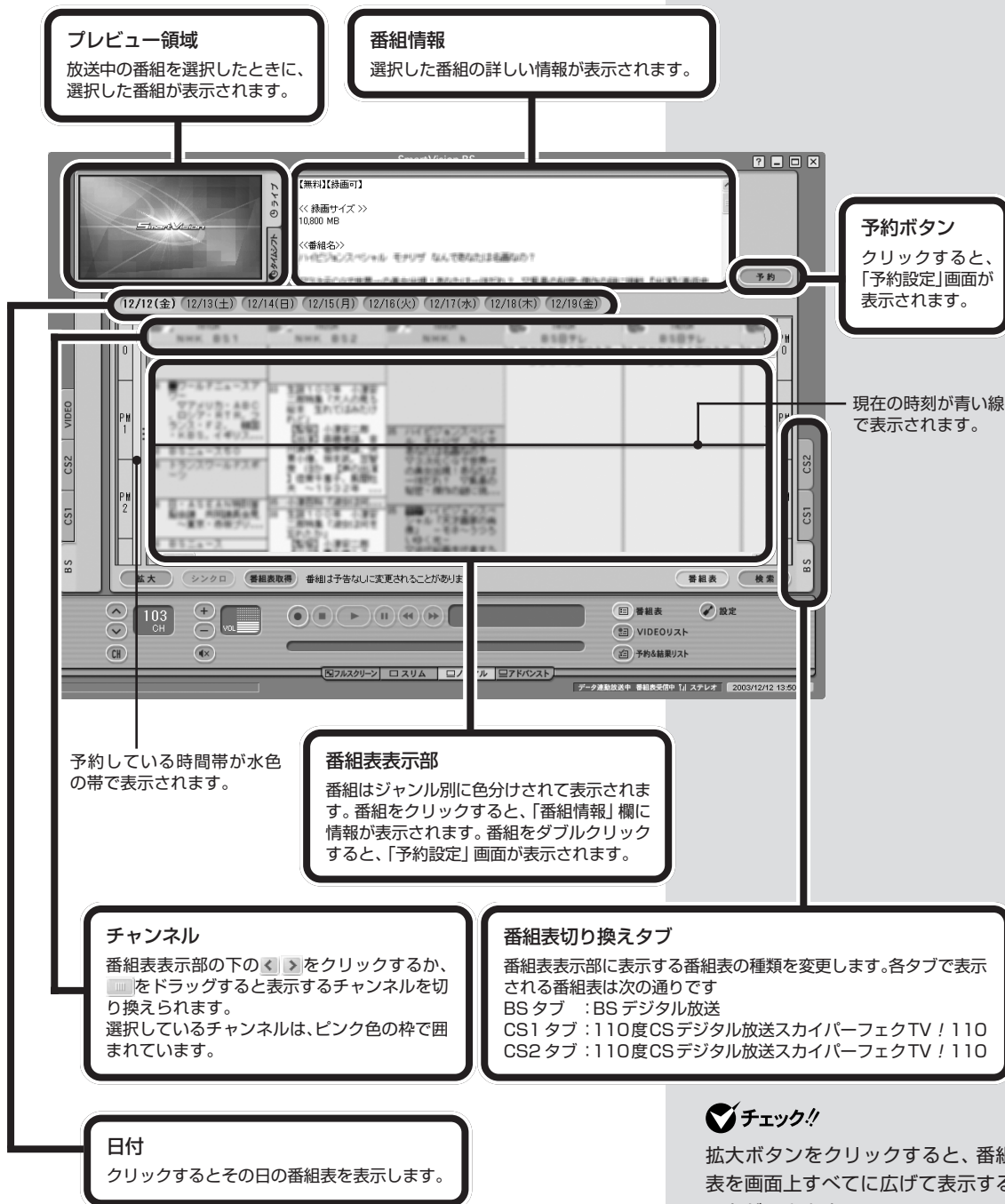
CS1 : 110度CSデジタル放送スカイパーフェクTV ! 110のCS1用の番組表が表示されます。

CS2 : 110度CSデジタル放送スカイパーフェクTV ! 110のCS2用の番組表が表示されます。

✓チェック!!

画面下に **番組表受信中** と点滅表示しているときは、番組表の受信中です。まだ番組表が受信できていないときは、 をクリックしても完全な番組表は表示されません。受信が終わるまでお待ちください。

●番組表の画面について

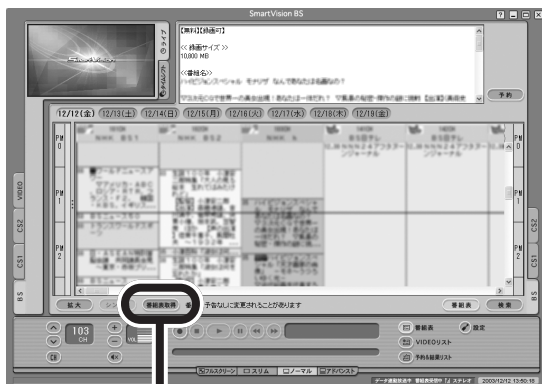


番組表を受信する

番組表は常に新しいものが放送されています。最新の番組表を取得する手順を説明します。

1

 (番組表) をクリックして、番組表を表示する

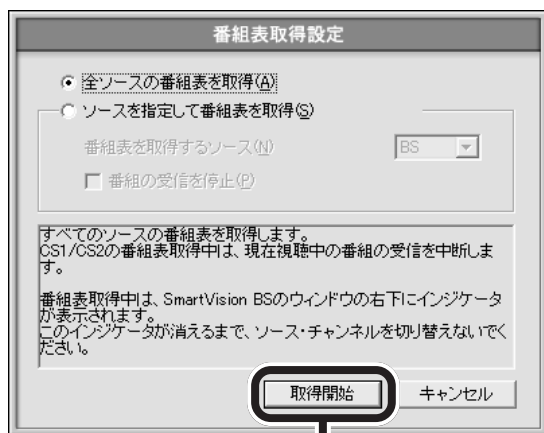


2

番組表取得 (番組表取得) をクリックする



次の画面が表示される



3

「取得開始」をクリックする

番組表の受信が始まり、画面下のステータスバーに「番組表受信
中」と表示されます。

受信が終わると、最新の番組表が表示されます。

プレイモードがタイムシフトのときは、番組表を受信することができません。プレイモードをライブに切り換えてから、番組表を受信してください。

✓チェック!!

番組表の受信を中断したいときは、受信中に「番組表取得」をクリックして、表示された画面で「はい」をクリックしてください。

✓チェック!!

番組表を定期的に最新のものに更新するように設定することもできます。設定方法については、オンラインマニュアルの「番組表から予約する」-「番組表を使う」-「番組表を自動で更新する」をご覧ください。

番組を予約する

番組の録画予約や視聴予約をしてみましょう。予約した時刻になると、SmartVision BSが起動して、自動的に録画や視聴が始まります。

予約する前に次のことをご確認ください。

- ・ Windowsのログイン時のパスワードと同じパスワードをSmartVision BSに設定しておく必要があります。
- ・ 予約までの時間を省電力状態にする場合は、省電力状態から復帰する際にパスワード入力画面が表示されない設定にしておくことが必要です。
- ・ 予約が実行される5分前までに、予約した人がログオンしていることが必要です。

番組表を使って予約する

受信した番組表を使って、番組の録画を予約してみましょう。

1

 (番組表) をクリックして、番組表を表示する

2

「番組表切り換えタブ」をクリックして、予約したい放送の番組表を表示する



✓チェック!!

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

📖参照

SmartVision BSのパスワード設定について→PART 1の「SmartVision BSにパスワードを設定する」(p.16)

番組を予約するために、パソコンの時計が正しく設定されていることを確認してください。

📖参照

日付と時刻の設定のしかた→オンラインマニュアルの「番組表から予約する」-「パソコンの時計を合わせる」

3 予約したい日付をクリックして、表示する

4 スクロールバーを左右にドラッグして、予約したい放送局を表示する

5 スクロールバーを上下にドラッグして、予約したい番組を表示する

6 予約したい番組をクリックする
「番組情報」欄に、番組の詳細情報が表示されます。

7 「予約」をクリックする
「予約設定」画面が表示される

8 予約内容が正しいかどうか確認する

9 「繰り返し」を選ぶ
一回のみ：1 回だけ予約をします
毎日：この時間、放送局の番組を毎日予約します
毎週 - 曜日指定：この時間、放送局の番組を毎週予約します

10 「実行モード」を選ぶ
録画：番組を録画します
視聴：番組を録画せずに視聴します

✓チェック!!
番組によっては、録画できないものがあります。

📖参照
詳細設定について→オンラインマニュアルの「番組表から予約する」-「予約する」-「番組表を使って予約する」

11 必要に応じて「シークレット予約」をクリックして☑にする
複数のユーザーを設定してこのパソコンをお使いの場合、他のユーザーに録画番組の再生や予約内容の確認ができないようにすることができます。

12 受信データの選択、放送時間変更時の操作をすることができます。

13 「OK」をクリックする

これで番組の予約ができました。

●省電力状態にする

視聴・録画予約をした後、パソコンを使用しないときは、パソコンを省電力状態にしておきます。予約した時間になると、パソコンは自動的に復帰し、自動的に録画を始めます。

1



ををクリックする

SmartVision BS を終了します。

2

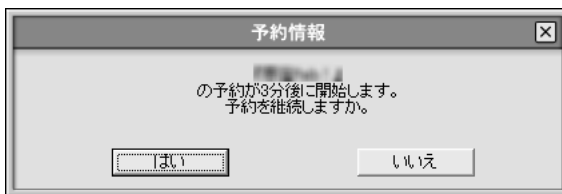
パソコンを省電力状態にする

ご購入時には 20 分なにも操作しないと自動的に省電力状態になるよう設定されています。

ひんぱんに録画する場合(週 10 時間以上)は、ハードディスクへの書き込みを効率的にするために週 1 回程度は、ディスク デフラグ(「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「ディスク デフラグ」)を実行してデータを整理することをおすすめします。なお、大容量のハードディスクのディスク デフラグには時間がかかります。十分な時間がとれるときに実施してください。

●録画予約を実行する

録画予約の開始時刻が近づき、予約開始 3 分前になると、次の画面が表示されます。



また、通知領域の が点滅し、もうすぐ視聴や録画が始まることを知らせます。

録画中は、 が次のように点滅します



✓チェック!

- ・パソコンが省電力状態になると、消費電力が低く抑えられます。
- ・予約後にパソコンを省電力状態にしておく場合、パスワードの設定が必要です。

📖 参照

パスワードについて→PART 1 の「Windows のパスワードを設定する」(p.8)、「SmartVision BS にパスワードを設定する」(p.16)

📖 参照

省電力状態について→「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「省電力機能」

📖 参照

ディスク デフラグについて→「サポートナビゲーター」-「ソフトの紹介と説明」-「ソフト一覧」-「ディスク デフラグ」

番組表を受信するために、パソコンの時刻を正しく設定してください。

📖 参照

日付と時刻の設定のしかた→オンラインマニュアルの「番組表から予約する」-「パソコンの時計を合わせる」

番組を検索して予約する

番組表のデータから出演者などのキーワードを指定して番組を検索して予約ができます。

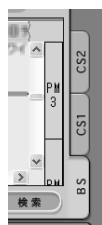
●ジャンルや出演者で検索する

1

 (番組表)をクリックして、番組表を表示する

2

「番組表切り換えタブ」をクリックして、予約したい放送の番組表を表示する



3

 をクリックする

4

キーワードを入力する

キーワードには、出演者名や番組タイトルなどを入力してください。

5

検索する日付の範囲と検索する番組のジャンルを選ぶ



6

 をクリックする

次の画面が表示される

✓チェック!!

番組表のデータがない場合、番組を検索できません。

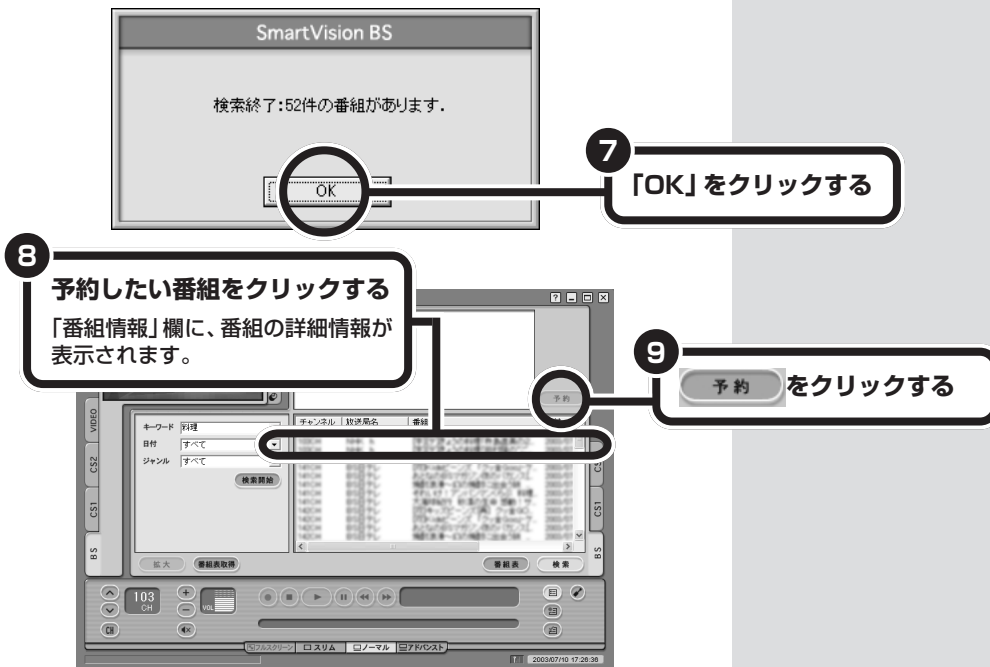
📖参照

番組表の受信の設定について→このPARTの「番組表を受信する」(p.56)

✓チェック!!

・複数のキーワードを入力したいときは、キーワードとキーワードの間にスペースを入力します(「料理 魚」など)。設定したキーワードすべてを含む番組が検索されます。

・番組の検索は、番組表切り換えタブで選択されている放送が対象になります。



「予約設定」画面が表示されます。この後は、「番組表を使って予約する」の手順 8 (p.58) 以降を行って番組を予約してください。

予約するときの注意

●一般的な注意

- ・パソコンの時計が正しく設定されていることを確認してください。
- ・予約を行う場合は、システムスタンバイの設定を5分以上に設定してください。
- ・予約は、現在の時刻から3分以上後の番組が対象です。
- ・BS番組の録画は開始時刻より若干(2～6秒)遅れて録画が開始される場合があります。
- ・予約は30件まで行えます。
- ・予約時刻が重なっている場合は、エラー画面が表示され、予約ができません。
- ・放送時間が連続した複数の番組を録画予約する場合、次のようになります。

録画開始時：録画開始処理のため、番組開始から若干(最大5秒)遅れて録画が開始されます。

録画終了時：同じチャンネルで連続して録画予約している場合、最初の録画は番組終了時刻の5秒前に終了します。異なるチャンネルで連続して録画予約している場合、最初の録画は番組終了時刻の15秒前に終了します。

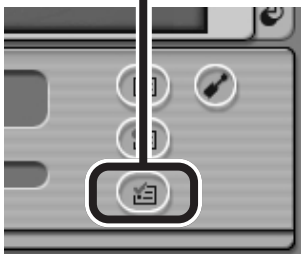
● SmartVision や SmartVision DG と予約を重複させるときの注意

- ・ SmartVision BS と SmartVision DG 間は予約時刻の前 7 分、予約時刻後の 3 分を含め、重複した予約（録画・視聴）をすることができません。
- ・ SmartVision BS と SmartVision 間は視聴予約に限り、予約時刻の前 7 分、予約時刻後の 3 分を含め、重複した予約をすることができません。
- ・ SmartVision BS で予約（録画・視聴）をしている時間帯に SmartVision DG が起動していると予約が開始できません。SmartVision BS の予約を続ける場合は、SmartVision DG を終了してください。
- ・ SmartVision BS で視聴予約をしている時間帯に SmartVision が起動していると視聴予約が開始できません。SmartVision BS の視聴予約を続ける場合は、SmartVision を終了してください。

予約の確認や変更をする

1

 (予約&結果リスト) をクリックする



2

「予約リスト」タブをクリックする



予約一覧が表示される

3 予約内容を確認、または変更したい番組をクリックする



4 変更をクリックする

✓チェック!

- ・ **取消** をクリックすると、予約を取り消せます。
- ・ **拡大** をクリックすると、画面いっぱいに表示することができます。

↓ 「予約設定」画面が表示される



5 予約内容を確認または変更する

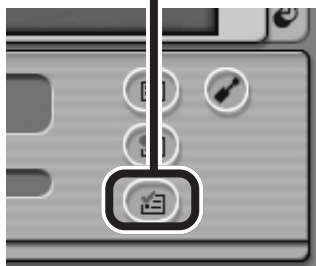
6 「OK」をクリックする

これで予約の変更ができました。

予約した録画が成功したか確認する

1

(予約&結果リスト) をクリックする

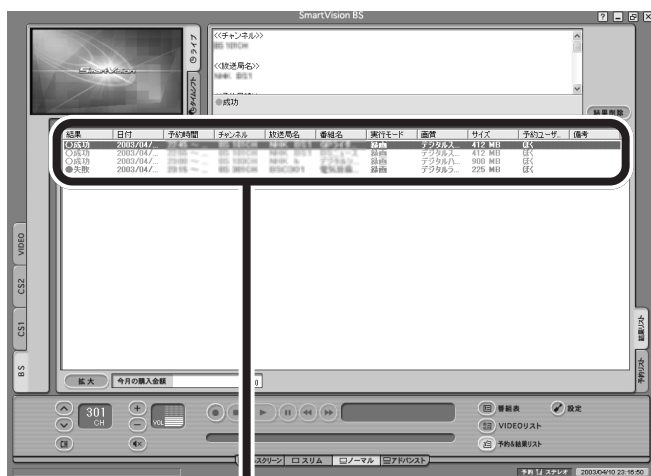


2

「結果リスト」タブをクリックする



結果一覧が表示される



3

予約結果を確認する

結果一覧の記号の意味は次の通りです。

- 成功 : 録画に成功したことを意味します
- 失敗 : 録画に失敗したことを意味します
- 番組購入 : 購入金額を表します (番組購入時のみ)

チェック!!

- ・ 予約録画の実行中に録画する時間を変更したり、録画を停止した場合、結果リストには「●失敗」と表示されます。
- ・ 「今月の購入金額」に表示される金額は概算のため、実際に請求される金額とは異なる場合があります。

「今月の購入金額」欄には、その月に購入した番組の総額が表示されます。

P A R T

5

SmartVision BS Q&A

テレビがうまく見られないときやソフトがうまく動かないときは、このPARTをご覧ください。

テレビがうまく 見られないときには

テレビや録画した番組を見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

SmartVision BSが起動できない

☹️➡️😊 他のソフトが起動していませんか？

「SmartVision (チャンネル設定ユーティリティを含む)」、
「SmartVision DG」、「bitcast browser」、「もじぞう」、
「VideoStudio」、「WinDVD」など、映像を表示するソフト
と同時に使用することはできません。起動しているソフトを
いったん終了させた後、SmartVision BS を起動してくだ
さい。

☹️➡️😊 他のユーザーがログオンして SmartVision BS、
SmartVision DG、SmartVision などのソフトを起動
していませんか？

複数のユーザーアカウントを設定している場合、他のユーザ
ーがログオンしてソフトを起動している場合があります。他
のユーザーがログオンしていないか確認してください。「ス
タート」メニューから「ログオフ」をクリックして、
「Windows のログオフ」画面で「ユーザーの切り替え」をク
リックします。ログオンしている場合には、ユーザー名の下
に「x 個のプログラムを実行しています」と表示されます。

テレビが映らない

☹️➡️😊 アンテナは正しく接続されていますか？

アンテナの接続を確認してください。アンテナの接続につい
ては、PART1 の「アンテナ線を接続する」(p.4) をご覧くだ
さい。

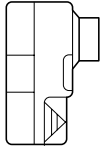
☹️➡️😊 アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くあり
ませんか？

アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするな
どの対策を行うと、受信状態が改善されることがあります。

☹️➡️😊 アンテナ線の接続に使用しているのはネジタイプのF型コネクタプラグですか？

アンテナケーブルとパソコン本体の接続には、ネジタイプのF型コネクタプラグを使用してください。他のものでは、正しく受信できない場合があります。

F型コネクタプラグの形状



箱型など



ネジタイプ

☹️➡️😊 ケーブルとF型コネクタプラグの接触が悪くありませんか？

PART1の「アンテナ線を接続する」をご覧ください、F型コネクタプラグを正しく取り付けてください。

☹️➡️😊 本体とディスプレイは正しく接続されていますか？

本体とディスプレイを正しく接続してください。

☹️➡️😊 他のソフトが起動していませんか？

「SmartVision (チャンネル設定ユーティリティを含む)」、「SmartVision DG」、「bitcast browser」、「もじぞう」、「VideoStudio」、「WinDVD」など、映像を表示するソフトと同時に動作させることはできません。起動しているソフトをいったん終了させた後、SmartVision BSを起動してください。

📖 参照

アンテナ線にF型コネクタプラグを取り付ける→PART1の「アンテナ線を接続する」(p.4)

📖 参照

- ・ VALUESTAR TZ、VALUESTAR Gシリーズ(タイプTX)のディスプレイの接続→『ユーザーズマニュアル』、またはディスプレイのマニュアル。
- ・ VALUESTAR Gシリーズ(タイプT)のディスプレイの接続→『準備と設定』、またはディスプレイのマニュアル。

音が出ない、音が大きすぎる

☹️➡️😊 スピーカの音量を調整してください。

PART2の「音量を調節する」(p.29)をご覧ください。

☹️➡️😊 SmartVision BSで音量調節をしてください

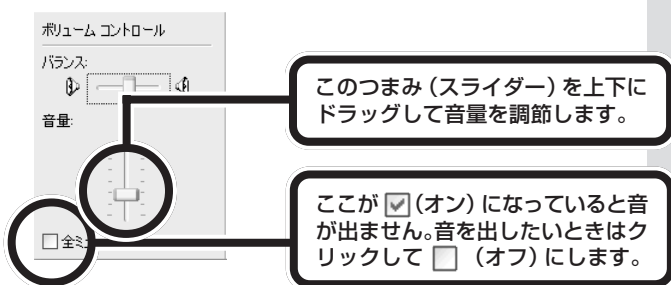
PART2の「音量を調節する」(p.29)をご覧ください。

☹️➡️😊 リモコンまたはキーボードで音量調整を行ってください。

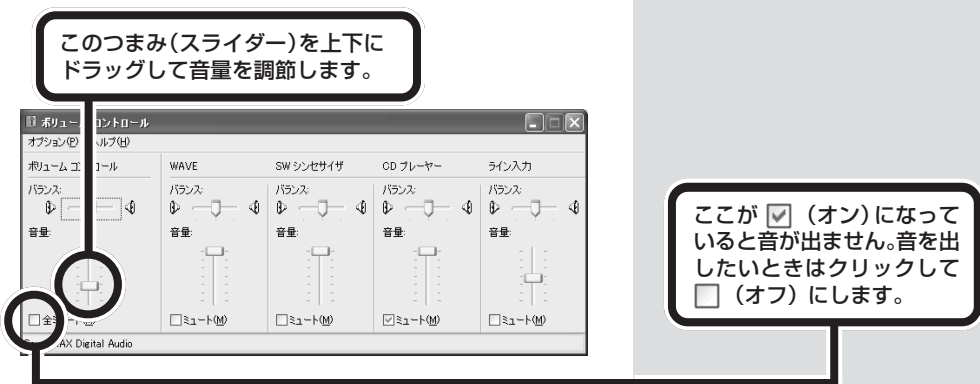
☹️➡️😊 「ボリューム コントロール」ウィンドウでミュート(消音)の確認と音量の調節をしてください。

1 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「エンターテインメント」-「ボリュームコントロール」をクリックする。

2 「ボリューム コントロール」ウィンドウで全ミュートが☒ (オン)になっているときはクリックして☐ (オフ)にしてください。



さらにスライダー()を上下にドラッグして、音量を調節してください。調節したら、右上の  ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。



録画ができない

☹️➡️😊 ハードディスクの空き容量は十分ありますか？

ハードディスクの空き容量を確認してください。

ハードディスクに、映像を録画するのに十分な空き容量がないと、録画できないことがあります。

不要な映像データなどを消去して、十分な容量を確保してください。

 → 録画できる番組ですか？

番組によっては、録画ができないものもあります。番組表の「番組情報」を見ると、録画可能かどうかわかります。その他、録画についての詳しい情報は、PART3の「録画について」(p.38)をご覧ください。

 参照

番組情報を見る→PART4の「番組表を使う」(p.54)

映像がコマ落ちする

 → 他のソフトが起動していませんか？

パソコンのCPU使用率が高くなるとコマ落ちが発生しやすくなります。他のソフトを終了してから、SmartVisionを起動してください。

 → マカフィー・ウイルススキャンの設定を変更してください。

次の手順でコマ落ちを軽減することができます。

- 1 通知領域にある **M** を右クリックする。
- 2 「VirusScan」-「オプション」をクリックする。
- 3 「ActiveShield」タブの「詳細設定」をクリックする。
- 4 「スキャンするファイルタイプ」の「プログラムファイルと文書のみ」をチェックする。
- 5 「OK」をクリックする。
- 6 「OK」をクリックする。

 → 映像優先モードに設定してください。

データ放送や番組情報を受信していると、コマ落ちが発生する場合があります。映像を優先させたいというときは、以下の手順で設定を行ってください。

- 1 映像が表示されているところで右クリックする。
- 2 表示されたメニューの「映像優先モード」をクリックする。
設定を解除する場合は、上記と同じ手順で操作を行って、「映像優先モード」のチェックを外してください。なお、番組が切り変わったときやチャンネルを切り換えたとき、SmartVision BS を再起動したときなどには、設定は自動的に解除されます。

視聴予約や録画予約ができないときには

番組予約をしたときに問題が起きたときは、ここをご覧ください。

予約設定ができない

☹️ → 😊 SmartVision や SmartVision DG と予約が重なっていませんか？

SmartVision や SmartVision DG などの映像を表示するソフトは、同時に起動することができません。SmartVision BS の視聴予約が、SmartVision や SmartVision DG の視聴予約と時間帯が重複していないか確認してください。重複している場合は、SmartVision の視聴予約を取り消してください。

☹️ → 😊 他のユーザーが予約設定をしていませんか？

他のユーザーが予約設定している時間と重複していると、予約ができません。

予約設定しているユーザーアカウントでログオンして、重複している予約を取り消してください。続いて自分のユーザーアカウントでログオンしなおして、予約を行ってください。

録画予約した番組が録画されていない

☹️ → 😊 省電力状態やスクリーンセーバーから復帰するときのパスワードや、SmartVision BS のパスワードは設定済みですか？ また、スタンバイ状態から復帰するときにパスワード確認画面は表示しない設定になっていますか？

パスワードの設定がされていない場合、予約ができません。また、パスワードを設定していても、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面を表示する設定になっていると、パスワード入力がない場合に復帰ができないため、予約を実行できません。

Windows および SmartVision BS のパスワードを設定し、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されない設定にしておいてください。

📖 参照

視聴予約の取り消しをするときは→
PART 4 の「番組を予約する」
(p.57)

📖 参照

- ・ Windows のパスワードについて
→ PART 1 の「Windows のパスワードを設定する」(p.8)
- ・ SmartVision BS のパスワードについて
→ PART 1 の「SmartVision BS にパスワードを設定する」
(p.16)

☹️➡️😊 「結果リスト」で予約実行結果を確認してください。

「結果リスト」に予約実行結果が表示されます。予約録画が失敗すると「結果」の欄に「●失敗」と表示されます。結果の詳細を見たい番組をクリックすると、画面上部に結果の詳細が表示されます。

☹️➡️😊 予約設定した別のユーザーでログオンしていませんか？

予約録画は、登録したユーザーでログオンしたときのみ有効です。また、スタンバイ状態や休止状態から起動する場合も、必ず予約したユーザーが、起動させてください。

VIDEOリストに録画した番組が見あたらない

☹️➡️😊 録画が失敗していませんか？

なんらかの事情で予約録画が失敗した場合は、VIDEO リストに表示されません。

予約録画が成功しているかどうかは、結果リストで確認することができます。

☹️➡️😊 「シークレット予約」で録画していませんか？

シークレット予約で録画すると、他のユーザーアカウントでログオンしたときには、番組名に「シークレット録画」と表示されます。録画したユーザーでログオンすると、番組名などが表示されます。

📖 参照

予約実行結果を確認する→PART4
の「予約した録画が成功したか確認する」(p.64)

📖 参照

予約実行結果を確認する→PART4
の「予約した録画が成功したか確認する」(p.64)

データ放送／番組表などの受信がうまくいかないときには

データ放送や番組表を見ようとして問題が起きたときには、ここをご覧ください。

受信できない

☹️➡️😊 アンテナは正しく接続されていますか？

アンテナの接続を確認してください。アンテナの接続については、PART1の「アンテナ線を接続する」(p.4)をご覧ください。

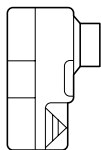
☹️➡️😊 アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くありませんか？

アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策を行うと、受信状態が改善されることがあります。

☹️➡️😊 アンテナ線の接続に使用しているのはネジタイプのF型コネクタプラグですか？

アンテナケーブルとパソコン本体の接続には、ネジタイプのF型コネクタプラグを使用してください。他のものでは、正しく受信できない場合があります。

F型コネクタプラグの形状



箱型など



ネジタイプ

☹️➡️😊 ケーブルとF型コネクタプラグの接触が悪くありませんか？

PART1の「アンテナ線を接続する」(p.4)をご覧ください。F型コネクタプラグを正しく取り付けてください。

📖 参照

- ・ データ放送について→PART2の「データ放送を見る」(p.31)
- ・ 番組表について→PART4の「番組表を使う」(p.54)

📖 参照

アンテナ線にF型コネクタプラグを取り付ける→PART1の「アンテナ線を接続する」(p.4)

データ放送が表示できない

- ☹️➡️😊 データ放送を行っているチャンネルになっていますか？
データ放送を行っている番組かどうか確認してください。画面右下のインジケータに「データ連動放送中」と表示されています（ラジオ番組や独立データ放送では表示されません）。
- ☹️➡️😊 タイムシフトモードになっていませんか？
タイムシフトモードでは、データ放送の表示ができません。データ放送を見る場合は、ライブモードに切り換えてください。
- ☹️➡️😊 タイムシフトモード中に録画していませんか？
タイムシフトモード中やタイムシフトモードで録画した番組を再生して見る場合、データ放送の表示ができません。
- ☹️➡️😊 「常に最前面に表示」にチェックがついていませんか？
画面表示部で右クリックをして、メニューを表示させます。「常に最前面に表示する」にチェックがついている場合は、データ放送の表示ができません。チェックをクリックしてオフにしてください。

付 録

**SmartVision BS をリモコンで操作して、BS・
110度CSデジタル放送を楽しむことができます。**

リモコンで操作する

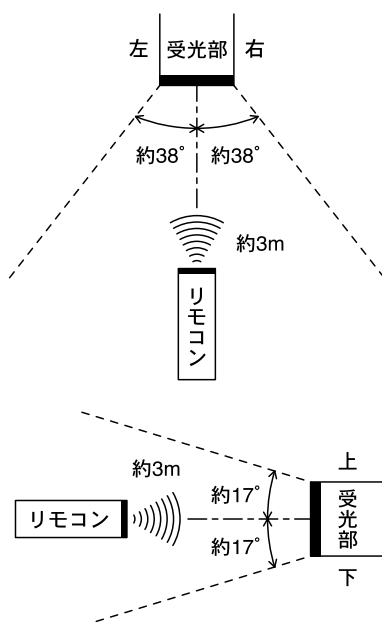
このパソコンに添付されているリモコンを使って、SmartVision の操作ができます。

リモコンの操作範囲

使用できる範囲

リモコンは、次のことに気をつけて使用してください。

- ・ リモコンと受光部の間には、赤外線のをさえぎるような物を置かないでください。
- ・ パソコンを操作する場合は、約3m以内の距離で操作してください。また、受光部に対し、左右約38度、上下約17度以内の角度で操作してください。
- ・ ご家庭のテレビを操作する場合は、テレビの機種により、リモコンの操作可能範囲が異なります。詳しくは、お使いのテレビのマニュアルをご覧ください。
- ・ 赤外線信号によってコントロールされる機器を使っているときにリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。誤動作の起かないよう、機器の設置場所を変えてください。
- ・ 赤外線の出る機器の近くでは、リモコンを使用しないでください。誤動作の原因になります。
- ・ 赤外線を利用した他のリモコン装置をパソコンのそばで使用すると、パソコンが誤動作することがあります。



リモコンでは、そのほかにWindowsや家庭のテレビを操作することもできます。

📖 参照

リモコンの使い方について→🔗「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「リモコン」

リモコンを操作したときに出力されるリモコン信号は、リモコン受光部に受信されます。

リモコン受光部の位置は、お使いの機種、モデルによって異なります。

◆17 型ワイド液晶ディスプレイ (F17W71、F17W71(B))17型TVチューナ内蔵ワイド液晶ディスプレイ (F17W81 (R))、19型液晶ディスプレイ (F19R11)、23 型TVチューナ内蔵ワイド液晶ディスプレイ (F23W11) がセットのモデルの場合および液晶一体型モデルの場合

液晶ディスプレイでリモコンの信号を受信します。

◆その他のディスプレイがセットのモデルの場合

添付のリモコン用受信ユニットでリモコンの信号を受信します。

🔗「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「リモコン」をご覧ください。

テレビを見るときに使用するボタン

ここでは、SmartVision BS で使用するリモコンの主なボタンを紹介します。

✓チェック!

SmartVision BS をリモコンで操作するときは、あらかじめ【モード切換】スイッチを「PC」にあわせておいてください。



【チャンネル/番号】ボタン

チャンネルを切り換えます。データ放送の操作に使うこともあります

【録画】ボタン

録画を開始します

【決定登録】ボタン

【矢印キー】ボタンで選んだ内容を選択/実行します

【矢印キー(▲▼◀▶)】ボタン

上下左右を操作してメニューやアイコンを選びます

【消音】ボタン

消音(ミュート)します

【戻る】ボタン

直前の状態に戻ります

【音量調節】ボタン

音量を上げたり下げたりします

【■】ボタン

再生や録画を停止します

【◀◀】ボタン

巻き戻しをします

【▶▶】ボタン

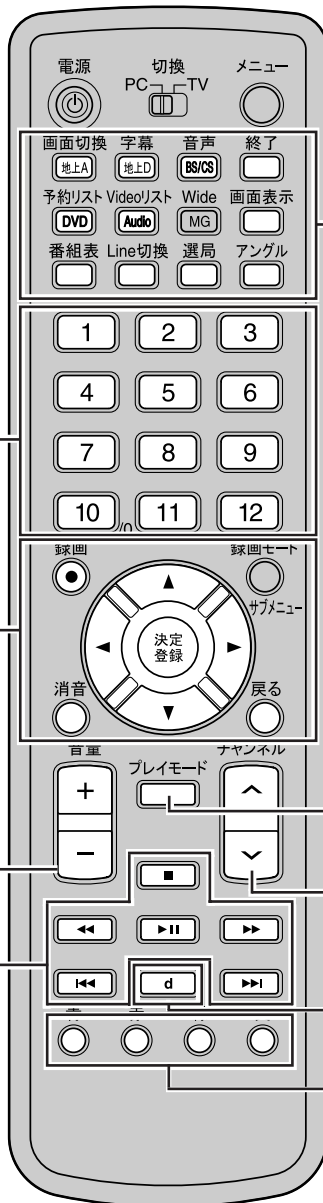
再生/一時停止をします

【▶▶▶】ボタン

早送りをします

【▶▶▶】ボタン、【◀◀◀】ボタン

モードによって機能が変化します。詳しくは「SmartVision BSでのリモコン操作」(p.79)をご覧ください



【画面切換】ボタン

フルスクリーン表示と前モード(スリム/ノーマル/アドバンスト)を切り換えます

【字幕】ボタン

字幕を表示/非表示にします

【音声】ボタン

音声多重放送の音声を切り換えます

【終了】ボタン

SmartVision BS を終了します

【予約リスト】ボタン

予約リストを表示/非表示にします

【Video リスト】ボタン

Video リストを表示/非表示にします

【画面表示】ボタン

画面にチャンネル番号などを表示します(オンスクリーンディスプレイを使用する設定の場合のみ)

【番組表】ボタン

番組表を表示/非表示にします

【Line 切換】ボタン

ソース(BS/CS1/CS2/Video)を切り換えます

【選局】ボタン

このボタンを押してから【チャンネル/番号】ボタンでチャンネル番号を入力してチャンネルを切り換えます

【アングル】ボタン

複数の映像の切り換えを行います

【プレイモード】ボタン

タイムシフトモード/ライブモードを切り換えます

【チャンネル切換】ボタン

チャンネルを切り換えます

【d】ボタン

データ放送画面を表示します

【カラー】ボタン

データ放送の画面上で色の付いた項目やボタンなどを選択します

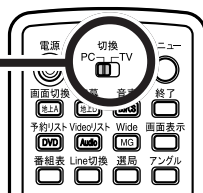
SmartVision BS を起動／終了する

リモコンを使って、離れたところから SmartVision BS の起動や終了ができます。

● SmartVision BS を起動する

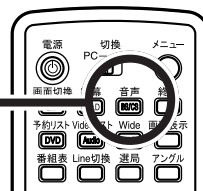
1

リモコンの【モード切換】スイッチを「PC」にあわせる



2

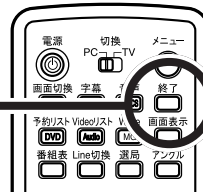
リモコンの【BS/CS】ボタンを押す
SmartVision BS が起動します。



● SmartVision を終了する

1

リモコンの【終了】ボタンを押す
SmartVision BS が終了します。



✓ チェック!!

パソコンの電源が入っていない場合は、本体またはキーボードの電源スイッチを押して電源を入れ、Windows を起動してください。パソコンがスタンバイあるいは休止状態になっているときも、電源スイッチを押して通常の状態に復帰させてください。

SmartVision BS でのリモコン操作

SmartVision BS 起動時には、リモコンで次のような操作を行うことができます。

◎視聴時の操作

機能	リモコンでの操作
チャンネルの切換	・【チャンネル／番号】ボタン(【1】～【12】)でチャンネル番号を押す ・【チャンネル切換】ボタン(↔)を押してチャンネルを切り換える ・【選局】ボタンを押してから【チャンネル／番号】ボタン(【1】～【10】)でチャンネル番号を入力する
音量の調節※ ¹	・【音量調節】ボタン(+-)を押して音量を調節する ・【消音】ボタンを押すと音声が消え、もう一度押すと音声聞こえるようになる
ソース切換 (BS / CS1 / CS2 / Video)	【Line 切換】ボタンを押す
番組表表示／非表示※ ²	【番組表】ボタンを押す
Video リスト表示／非表示※ ²	【Video リスト】ボタンを押す
予約リスト表示／非表示※ ²	【予約リスト】ボタンを押す
オンスクリーンディスプレイ表示／非表示	【画面表示】ボタンを押すと画面にチャンネル番号などが表示される(オンスクリーンディスプレイを使用する設定の場合のみ)
録画開始	【録画】ボタンを押す
タイムシフト／ライブ切換	【プレイモード】ボタンを押す
フルスクリーンと前モード(スリム／ノーマル／アドバンスト)の切換	【画面切換】ボタンを押す
字幕放送の切換(表示／非表示)	【字幕】ボタンを押す
音声多重放送の音声の切換(主音声／副音声)	【音声】ボタンを押す
複数の映像の切換	【アングル】ボタンを押す
データ放送視聴時の画面操作に対応	【d】ボタン、【カラー】ボタン、【決定登録】ボタン、【戻る】ボタンを押す、【矢印キー(▲▼◀▶)】ボタンを押す

※¹：【音量調節】ボタンは、Windows の「ボリュームコントロール」と連動しています。SmartVision BS に表示される VOL は、変化しません。

※²：スリムモードおよびフルスクリーンモードでは、番組表／Video リスト／予約リストを表示することができません。

◎タイムシフトモード／録画中／録画番組再生中の操作

機能	リモコンでの操作
巻き戻し	◀◀を押す 【矢印キー】ボタンの◀を押す 3・10・50 倍速まで速さが変わります。
早送り	▶▶を押す 【矢印キー】ボタンの▶を押す 3・10・50 倍速まで速さが変わります。
再生／一時停止※	▶ を押す
停止	■を押す

※：録画番組の再生は、【Video リスト】ボタンを押し【矢印キー】ボタンの▲▼で選択して【決定登録】ボタンで指定できます。

◎番組表表示中の操作

機能	リモコンでの操作
番組表の日付変更	◀◀▶▶ を押す

索 引

英数字

110度CSデジタル放送	i
B-CASカード	6, 7
BSデジタル放送	巻頭
CAS	7
DVD-R	46, 49
F型コネクタプラグ	3, 4
ICカードBOX	5
PPV (ペイ・パー・ビュー)	34
Windowsのパスワード	8

あ行

アドバンスモード	21
アンテナ設定	14
アンテナ線	4
一時停止	23
映像切り換え	35
エクスポート	44
音声切り換え	35
オンラインマニュアル	20
音量の調節	29

か行

画質	52
キーボード	26, 30
ケーブルテレビ	3
検索	60
限定受信システム	7
コントロールバー	20

さ行

再生	42, 43
しおり	21
視聴予約	57, 70
字幕放送	35
省電力状態	57, 70
ステータスバー	20
スリムモード	22
接続	2
設定	20

た行

タイムシフトモード	23
ダウンロード	21
チャンネル	25, 55
データ放送	31, 72

な行

ノーマルモード	20
---------------	----

は行

パスワード	8, 16, 70
ハードディスク	38, 68
番組情報	55
番組表	54
ビデオデッキ	51
プリセット	26
フルスクリーンモード	22
プレイモードタブ	20
プログレスバー	20
ボリュームコントロール	29

ま行

巻き戻し	23, 41
巻き戻し録画	41
メール	21
文字スーパー	35

や行

有料放送	34
予約	57
予約結果	64
予約の確認	62
予約の変更	62
予約リスト	62

ら行

ライブモード	23
ラジオ放送	34
リモコン	26, 30, 33, 76
録画	38, 57
録画予約	57, 70

VALUESTAR

パソコンで楽しむ
BSデジタル放送



* 8 1 0 6 0 1 2 9 1 A *

初版 2004年5月

NEC

853-810601-291-A

Printed in Japan